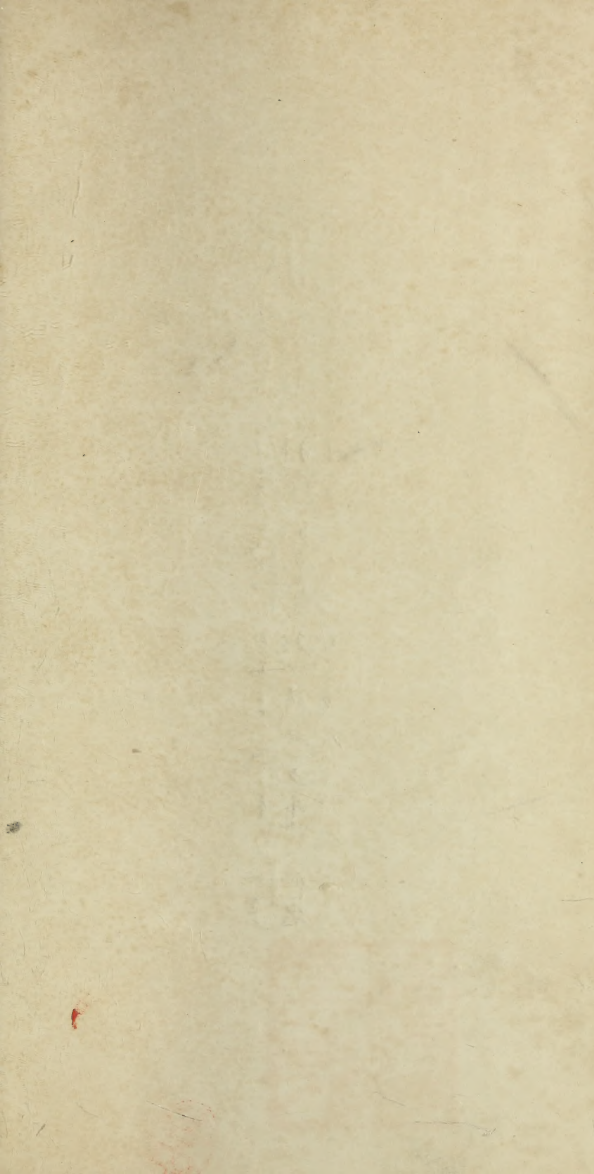
新朝鮮語會話

朝鮮總督府通譯官 田中德太郎閱
前東京外國語學校敎授 柳苾根閱
京城高等商業學校敎授
京城醫學專門學校講師 山本正誠著

新新朝鮮語會話

東京 大阪屋號發行

凡例

一、本書ハ西村眞太郎氏トノ共著タル增訂日鮮語會話ノ姉妹書ニ係リ朝鮮語ヲ學修セントスル初學者ノ獨習用並敎科用書トシテ編纂セルモノナリ理論的ノ語句ハ之レヲ避ケ可成實用的ノ語彙ヲ蒐集スルニ努メタリ

一、諺文ノ傍ニ附セル發音ノ假名ニ就テハ實際ノ發音ヲ示セルモ往々其ノ原音ト附合セザルモノアリ右ハ去聲音便ノ關係竝ニ國語ノ假名ヲ以テシテハ完全ニ朝鮮語ノ發音ヲ表示シ得ザル點アルガ爲ナリ宜シク本書ノ假名ヲ模倣スルト共ニ實地鮮人ニ就キ習得セラレムコトヲ望ム

一、本書ハ專ラ會話ノ精通ヲ目的トシテ編纂セルガ爲文法ハ會話ト密接ノ關係アルモノニ就テノミ說明ヲ加ヘ詳細ハ他日朝鮮語文典ノ上梓ヲ俟チテ敍述スルコトトセリ

大正十年二月十一日

著者識

目次

第十一章　會話

第十二章

—（終）—

新々朝鮮語會話

京城高等商業學校教授
京城醫學專門學校講師　山本正誠著

第一章

(一) 諺文(언문)に就て

諺文(朝鮮人の所謂反切と稱するアルファベット)は今日世界の二百數十種の文字中最も新式なるものにして東洋に於ける唯一のアルファベット式文字なり諺文の起原に付ては諸說紛紛として未だ決定する所を見ざれども李朝世宗王の時代(我が足利時代の初期)を正しと爲す說多數なり文獻備考第五十一卷の本文に

本朝世宗二十八年御製訓民正音○上以爲諸國各製文字○以記其國文方言○獨我國無文○遂製字母二十八字○名曰諺文○開國禁中○命鄭麟趾申叔舟成三問崔恒

等撰定之○蓋倣古篆○分爲初中終聲○字雖簡易○轉換無窮○諸語音文字○所不能記者○悉通無礙○中朝翰林學士黃瓚○時謫遼東○令成三問等○見瓚質問音韻○往來遼東十三度

とあり極めて近代的のものなり而して諺文は表面上國王自ら之を作りて國民に示せりとなし從つて初は諺文を稱して「訓民正音」と云へり其の所謂御製訓民正音なるものを見るに左の如し。

鄭麟趾序訓民正音曰、吾東方禮樂文物、侔擬中夏、但方言俚語、不與之同、學者患其旨趣之難曉、治獄者病其曲折之難通、昔新羅薛聰始作吏讀、官民間至今行之、然皆假字而用、或澁或窒、非但鄙陋無稽而已、至於言語之間則不能達其萬一焉、癸亥冬我殿下、創制正音二十八字、略揭例義以示文、名曰訓民正音、

象形而字倣古篆、因聲而音協七調三極文義云云以是解書、可以知其義、以是聽訟、可以得其情云云遂命臣等詳加解釋、以喩諸人。

今諺文の起原に就ての諸説を見るにクラプロートは諺文は我が國の假字と同じく漢字より轉訛せるものと爲しエドキンスはシリヤ文字より出でたるものと爲しドローニーは西藏文字説を稱ひ白鳥博士は蒙古の八思巴文字説を稱道せられ金澤博士其他スコット、バーカー、ジャイルスの諸氏は梵字説を稱へ居れりゼームス、スコッド氏は其著英韓文典の緒論に曰へることあり朝鮮の使徒が梵語を知れる支那人と北京の朝廷に相逢ふて談話せるよりしてアルフアベットの初一念を生じたりと即此譚は一場の挿話(エピソード)に過ぎざれども朝鮮文字と梵字とは相互關係あるものなることを證するものと云ふべし要するに我が五十音は其の配列法のみ梵字に據れ

るも諺文は其の配列、形狀共に梵字を模倣せりと爲す學說は多く此の點に於て共鳴し居れり諺文は十一箇の母音と十四箇の子音とより成り之を一定の規則に從つて左右上下の各樣に綴合し以て幾百千の聲音文字を作るものなり。

母音
- 開口音　ㅏ（アー）　ㅑ（ヤー）
- 咽喉音　ㅓ（オー）　ㅕ（ヨー）
- 舌音　ㅗ（オ）　ㅛ（ヨ）
- 唇音　ㅜ（ウー）　ㅠ（ユー）
- 牙音　ㅡ（ウ）　ㅣ（イ）　ㆍ（ア）

子音
- 有名子音　ㄱ（キ、ヨク）　ㅅ（シ、オツ）　ㄴ（ニ、ウン）　ㄷ（テイ、クツ）　ㄹ（リ、ウル）　ㅁ（ミ、ウム）　ㅂ（ビ、ウブ）　ㅇ（ハ、エング）
- 輕音　ㅎ（ヒー）　ㅈ（チー）
- 激音　ㅋ（キヒー）　ㅊ（チヒー）　ㅌ（テイヒー）　ㅍ（ピヒー）

因に昔は右の外子音にㅿ、ㆁ、ㆆ等の文字ありたれども其音ㅿはㄹにㆁはㅇにㆆ

はㅎに酷似せるが故に終に棄りて現今は使用せざるに至れり。

今母音字を學理的に其の形狀に依りて分類すれば即母音字は縱線橫線及點（ㅣㅡ・）より成れるものなることを知る。

開口音ㅏ(アー)は縱線の右に點一箇ㅑ(ヤー)は縱線の右に點二箇を附せるものなり。

咽喉音ㅓ(オー)は縱線の左に點一箇ㅕ(ヨー)は縱線の左に點二箇を附せるものなり（鮮語の咽喉音어여は日本語に全然なき音なり）

舌音ㅗ(オ)は橫線の上部に點一箇ㅛ(ヨ)は點二箇を附したるものなり。

唇音ㅜ(ウー)は橫線の下に點一箇ㅠ(ユー)は橫線の下に點二箇を附せるものなり。

母音字の例に傚ひ子音字を其形狀に依りて分類すれば子音字はㄱ、ㄴ、ㅅ、ㅁ、ㅇ、ー、丶の七字より成れるものなり。

ㄱ（キヨク）を基礎とするもの

ㅋ…ㄱの中に一を加ふ

ㅅを基礎とするもの

ㅈ…ㅅの上に一を加ふ

ㅊ…ㅈの上に、を加ふ

ㄴを基礎とするもの

ㄷ…ㄴの上に一を加ふ

ㅌ…ㄷの上に一を加ふ

ㅁを基礎とするもの

ㅂ…ㅁの上部を變形す

ㅍ……ㅂを横に變形す

ㅎ…ㅇの上に一を加ふ

以上の如く諺文の書體は最も簡易にして且つ論理的なり例へば日本假名の「カ」は子音「ク」(「カ」の音を呼び起す聲なるが故に獨立して發音し得ざるものなり)と母音「ア」と合熟したる音なれども文字の形狀に因りて之が組織を知ること能はず然るに諺文は之れに反し諺文の가(カー)は子音ㄱ(ク)と母音ㅏ(アー)と合したる音なることは一見其の字形に因りて知ることを得べし之れ諺文の學術的組織を有せる特長の一例なり

以上述ぶるが如く諺文の組織は極めて學術的なるに拘らず玆に憾むべき一の缺點を有せり即ち綴字法の不規則なること是なり言語學上綴字法に二種あり一は水平的のものにして他は垂直的のものなり歐洲各國語の綴字法は前者に屬し我が國語

等は後者に屬せり然るに朝鮮の諺文は兩者をチャンポンに爲せり國語又は英語の如く其綴字法にして垂直的若しくは水平的孰れか一方に限定せらるるものに在りては例へば內地語に於ては其の活字の如きも(五十一箇英語ならば二十六箇)若干を有するのみにて千變萬化如何なる音をも表はし得べきも獨り諺文のみは一千箇以上の活字を要すること是れなり思ふに是等の弊害の一半は其綴字法が梵字より得他半は漢字の影響を受けて水平的及垂直的の兩綴字法を混用するに至りたるものなり。

例

게(ケイ)「ㄱㅓㅣ」……橫書

돗(トオット)「ㄷㅗㅅ」……縱書

ᄃᆞᆰ（ターク）ㄷ、ㄹㄱ」…縱横混用

之れを要するに朝鮮の諺文なるものは金澤博士主張の如く其の源を印度の梵字に發し一定の學術的組織の下に發達成長せる一種のアルフアベット式文字なることを肯定し得べきものと思料す。

以上の如く諺文は所謂内地語の假名文字に相當するものに係り結局子音と母音とを組み立て以て如何なる復雜なる發音をも表はし併せて無數の言語は悉く之れによりて成立するものなり朝鮮語を研究せむとする者は先づ諺文に長ずること最も必要なり然らざれば耳より得たる朝鮮語となり正確なる發音等は得て望むべくもあらざるなり而して諺文の綴方は二字綴に在りては必らず子音と母音と合するものにして子音は左側に母音は子音の右側又は下側に附するものとす。

例

初聲 ㄱ(K)と中聲たる母音ㅏ(A)が綴合して가(KA)となり。

ㄴ(N)ㅑ(ya)が綴合して냐(nya)となり。

ㄷ(T)とㅓ(O)が綴合して더(to)となり。

ㅁ(m)とㅠ(yu)が綴合して뮤(myu)となる。

其の他もこれと同様なり。

尚一言すべきは母音のㅓㅕ(咽喉音)と牙音の一とは全然國語になき音なるが故に特に右三音の發音には練習するの必要あり參考の爲右三音の發音法を記せば左の如し。

ㅓ、ㅕ。 は口を開き舌と唇とを動かさずして只咽喉よりオー。ヨー。と發音

するを要し若し少しにても唇を括約する時には舌音のㅗㅛの音に變ずる虞あり故に發音しながら寧ろ更に口を擴大する方可なり。

ㅡ。 は歯を閉ぢ唇を少し開き横に伸張してウーと發音すれば可なり若し唇を動かす時には唇音のㅜと誤り易きに依り發音しながら唇を兩側に伸張するを要す

朝鮮語の發音は母音と子音が根底となるものなるが故に特に開口音を發音する時は開口音たることを前提として發音するに非ざれば機械的に陥るに依り開口音は開口音咽喉音は咽喉音舌音は舌音と豫め發音するに先だち各音の觀念を念頭に置き然る後發音せば眞に近き發音を爲すことは初學者と雖も敢て至難の業に非ざるなり以下子音十四字と母音十一字とを綴合して作れる諺文表を記すことゝせり發

音の練習綴方の方法等は右諺文表に依りて體得せられむことを望む。

(二) 諺文表

諺文表

母音＼子音		牙音 ㄱ K	舌音 ㄴ N	舌音 ㄷ T	舌音 ㄹ R,l
開口長音調	ㅏ a アー ㅑ ya ヤー	가 ka カー 갸 kya キァ	나 ナ 냐 ニャ	다 タ 댜 チャ	라 ラ 랴 リャ
咽喉長音調	ㅓ オ ㅕ yo ヤオ	거 ko カオ 겨 kyo キヤオ	너 ナオ 녀 ニヤオ	더 タオ 뎌 チヤオ	러 ラオ 려 リヤオ
舌長音調	ㅗ ō ヲ ㅛ yō ヨ	고 kō コ 교 kyō キョ	노 ノ 뇨 ニョ	도 ト 됴 チョ	로 ロ 료 リョ
唇長音調	ㅜ u ウー ㅠ yu ユー	구 ku クー 규 kyu キウ	누 ヌー 뉴 ニュー	두 ツー 듀 チュー	루 ルー 류 リュー
牙短音調	ㅡ eu ウ ㅣ i イ ㆍ ă ア	그 ku グ 기 ki キ ᄀᆞ ka カ	느 ヌ 니 ニ ᄂᆞ ナ	드 ツ 디 チ ᄃᆞ タ	르 ル 리 リ ᄅᆞ ラ
		가行	나行	다行	라行

激音			喉音		齒音		唇音	
ㅊ CHh	ㅌ Th	ㅋ Kh	ㅎ H	ㅇ nG	ㅅ S,T	ㅈ CH	ㅂ P,B	ㅁ M
차 チヤ	타 タ	카 カ	하 ハ	아 アー	사 サ	자 チヤ	바 パ	마 マ
챠 チヤ	탸 チヤ	캬 キヤ	햐 ヒヤ	야 ヤー	샤 シヤ	쟈 チヤ	뱌 ピヤ	먀 ミヤ
처 チヤオ	터 タオ	커 カオ	허 ハオ	어 オー	서 サオ	저 チヤオ	버 パオ	머 マオ
쳐 チヤオ	텨 チヤオ	켜 キヤオ	혀 ヒヤオ	여 ヨー	셔 シヤオ	져 チヤオ	벼 ピヤオ	며 ミヤオ
초 チヨ	토 ト	코 コ	호 ホ	오 ヲ	소 ソ	조 チヨ	보 ポ	모 モ
쵸 チヨ	툐 チヨ	쿄 キヨ	효 ヒヨ	요 ヨ	쇼 シヨ	죠 チヨ	뵤 ピヨ	묘 ミヨ
추 チユー	투 ツトー	쿠 クー	후 フー	우 ウー	수 スー	주 チユー	부 プー	무 ムー
츄 チユー	튜 チユー	큐 キユー	휴 ヒユー	유 ユー	슈 スー	쥬 チユー	뷰 ピユー	뮤 ミユー
츠 チユ	트 ツ	크 ク	흐 フ	으 ウ	스 ス	즈 チユ	브 プ	므 ム
치 チ	티 チ	키 キ	히 ヒ	이 イ	시 シ	지 チ	비 ピ	미 ミ
ᄎᆞ チヤ	ᄐᆞ タ	ᄏᆞ カ	ᄒᆞ ハ	ᄋᆞ ア	ᄉᆞ サ	ᄌᆞ チヤ	ᄇᆞ	ᄆᆞ マ
차行	타行	카行	하行	아行	사行	자行	바行	마行

音	ㅍ Ph	파 パ	퍄 ピヤ	퍼 パオ	펴 ピヤオ	포 ポ	표 ピヨ	푸 プー	퓨 ピユー	프 プ	피 ピ	ᄑᆞ バ	파行

(三) 諺文の讀方

(A) 初中終の三聲

父音ひとつと、母音ひとつを合せて子音一つを作るのは見易いが、さて、鮮音は次の様な、國語に全くない構造を持つて居る。之が爲めに其の發音が甚だ困難なのである。

(一) 각　之はㄱ(キヨク)の次にㅏ(ア)を入れて가(カア)とし其の下に又ㄱ(キヨク)を受けて「カァク」と云ふのである。

然しながら玆に最も注意をしなければならぬのは、各(カク)と國語音は「ク」の内に母音ウがあるけれども鮮音には全く之がない。故に「カァク」と讀んでは既に〳〵

間違であることに留意せねばならぬ即ち「각」にして羅馬字 kak である之を發音するのには「カァ」と口を開き終の「ク」を輕く發すればよい。而して각(カアク)の次に母音が來たら其の終りの「ク」は待つて居つた、と言はぬばかりに下に飛び居りて母音に合體する。之の初聲・中聲・終聲とは父音・母音・子音と云ふ格に當る。

(中)(初)(終) 각(カアク)

終聲の子音は凡て八字ある、之を받침(パッチム)と云ふ。
皆初聲音字を借りて用ゐて居るが、音が全く違つて發せられるのもある。

각　カァク

간　カァンヌ　「ㄴ」は「ン」と「ヌ」の中間、「何(ナン)にもない」と云ふ時の「ン」

と「ニ」の間の音である。舌を上顎にくッつけることを怠るな。

갈 カル

巻舌で「ル」を發音す。

감 カム

旱魃(カムバツ)と云ふ時の「カム」と發し、次にバを言はうとして居る時の唇は堅く閉されて居る。終聲の「ロ」は其の堅く閉されたる唇を永久に開かないで居る時の kam 音である。唇を開いたら直ちに kamu カムと母音が入つて來てちがつた音となる。凡て之等發音上の注意を等閑に附していくら朝鮮語を習つても、結局骨折損のくたびれ儲で役にも何にも立たないのみならず、却つて人から笑を受ける

のである。

갑　カプ　kapであつて決してカプ即ち母音の入つたkapuでない。

갓　カット　kas及katの二音がある。

吾々は中學でitの發音を英人から直(ナホ)されたのは、つまりitoと發音するからで、朝鮮語にも잇 is 又 it には、語の終りに少しも母音がない。

강　カァング　カンとカングの中間でグ(gu)の母音(ㅡ)を除いたものだ即ちkang(カアング)である。

(B) エの音

國語エ、ヱは今日少しも發音上區別しない、鮮音にヱに當る예에及エに當る의애

があるが普通に區別しないで發音してよろしい。つまり中聲を二つ組み合せたものである。尚의위等「衣」「井」の音も初學者はイに見て差支ない。

애	에	얘	예	외	이	의	위
エ	エ			의ハ「エ」と發音する時あり	イ		

故に

개	게	걔	계	괴	기	긔	귀
皆ケ					皆キ		

其の他티(テー)も대(テー)も데(テー)も皆同じ道理である。

(C) 綴方が漢字に眞似た字（縦綴横綴を混用す「覇」の字の如し）

ᄃᆞᆰ　タルクなれどタークと長く讀む

ᄃᆞᆱ　タープ

와　ヲアーなれどウァーとよむ

과　コアーなれどクァーと發音す

솨　サー

화　ホアーなれどファーと讀む

뭐　ムォー

(D) 硬音（凝音）

手の掌で咽喉を押しつけて、咽喉を偏平にして置いて苦しまぎれにカ゚ーと云へばᄭᅡと云ふ字の音が出る、烏の鳴き聲が即ち之の字で表されて居る。追々なれて來ると其の掌を放しても、咽喉が偏平になつて來る樣になる。

ᄭᅡ　カ゚ー　凡て「〇」の標は硬音を表はすものと假定す

싸　サ゚

ᄯᅩ　ト゚

ᄲᅢ　パ

ᄶᅣ　チ゚ア

ᄭᅩᆨ　コ゚ク

第二章

(一) 音便

音便の種類を大別すれば

(1) 習慣に依る變音。

語頭の라(ラ)を나(ナ)と呼び니(ニ)を이(イ)と稱するが如し

(2) 音の移動。

칙(チエク)음을(ウル)を치(チエ)글(クル)と讀みて上語の終聲が下語の初聲に移動するが如し

(3) 音の變化。

잇(イッ)나(ナ)を인(イン)나(ナ)と呼び人(ツ)かし(ヌ)の音に變化するが如し

(4)　助音。

本ジャと云ふ語はᄎᆡᆨと다(ジャ)との間に이を添入してᄎᆡᆨ이다と爲すが如し

(A)　나行音の變化

나行音中母音ㅑ。ㅕ。ㅛ。ㅠ。ㅣを有する냐。녀。뇨。ㅠ。뉴。니五音が語頭に在るときは初聲ㄴの音を發せず故に야。여。요。유。이と同音たり

例　녀ᄌᆞ(女子)　님의(樣の)

(B)　라行音の變化。

語頭に在る라行音は凡て其本音を發することなし

라行音中母音ㅑ。ㅕ。ㅛ。ㅠ。ㅣ。を有する랴。려。료。리の五音が語頭に在るときは初聲ㄹの音を發せず나行音の變化と同じく야。여。요。유。이と同音となる

例

량반(兩班。紳士)　룡산(龍山)　리수(里數)

(C) 終聲のㄱ(ク)は初聲のㄴ(ン。ヌ)ㅁ(ム)ㄹ(ル)の上に在りてはㅇの音に變ず

例

◉ 학문(ハングムン)　작란(惡戲)먹는것(食ふ物)

(D) 終聲のㄱは習慣上消滅することあり

例

륙월(六月)

(E) 終聲のㅅは初聲ㄴ。ㅁ。ㄹ。(ㄹはㄴに變ず)の上に在りてはㄴの音に變ず

例

잇나(有るか) 갓모(笠冠)

(F) 終聲のㄴは初聲ㄹの上に在りてはㄹの音に變ず

例

관리(官吏) 편리(便利)

終聲のㄴは又初聲ㄴの上に在るとき終始共にㄹの音に變ずること多し

(習慣上)

例
안녕(アルリヨング)(安寧)　곤난(コルラン)(困難)

(G)　終聲のㅂは初聲ㄴ。ㅁ。ㄹの上に在るときはㅁの音に變ず

例
십리(シムリー)(十里)　십년(シムニヨン)(十年)

又習慣上ㅂの消滅するものあり

例
십월(シオル)(十月)　십오리(シオリ)(十五里)

初聲の變化

初聲のㄱ。ㅈ。ㄷ。ㅂ。は終聲ㄴ。ㅁ。ㅇの下に在りては濁音又は輕濁音に變し

母音の下に在りても濁音輕濁音たる場合多し

(A) 終聲ㄴ。ㅁ。ㅇ。及母音の下に在る初聲ㄱ

例 친구〔チングー〕(友人) 감긔〔カムグイ〕(風邪) 싱각〔センガク〕(考へ) 이약이〔イヤキー〕(はなし)

(B) 終聲ㄴ。ㅁ。ㅇ。及母音の下に在る初聲ㅈ

例 혼자〔ホンヂャ〕(一人) 진지〔チンヂー〕(御飯) 아직〔アーヂク〕(未だ) 이져〔イヂョ〕(忘却)

(C) 終聲ㄴ。ㅁ。ㅇ。及母音の下に在る初聲ㄷ

例 형뎨〔ヒョングヂエー〕(兄弟) 사람들〔サラムヅル〕(人達)

(D) 終聲ㄴ。ㅁ。ㅇ。及母音の下に在る初聲ㅂ

例 한번[ハンボン](一度) 아버지[アボヂー](父) 여보[ヨポ](もし)

(E) 終聲ㅇの下に在る初聲ㅇ

例 봉어리[ボングオリー](蕾) 항아리[ハンガアリー](壺[ツボ])

(F) 初聲のㄱ、ㅅ、ㅂ、は終聲ㄱ。ㅅ。ㅂ。の何れの下に在りても明確に發音す

例 덥소[トープソ](暑いです) 박공[パクコング](朴さん)

(G) 初聲のㅇは終聲ㅅの下に在りては其の感化に依りてㅅに變ずること多し

例

옷은（衣服は）　벗을（友達を）

（二）去　聲

朝鮮語に於ては支那語日本語に於けるが如く同一の文字にして而かも其の發音の異なる場合あり平音の發音と異なる音を發する時は即ち去聲となるなり之れは漢字の音又は俗語を讀む場合に屢々遭遇するものにして若し是等去聲と平音とを區別せざる時は意味全く通せざる場合あり右は獨り朝鮮語に於て然るのみならず日本語に於ても同様なり例へは日本語に於て登記（とうき）と發音する場合登山（とざん）の時の（と）と發音し登記（とき）とすれは其の意を解するに由なきが如し然れとも朝鮮語の去聲は文法的に確定せられたるものに非ずして習慣上去聲に發す

る語は限定せられ居るものなるが故に多くの朝鮮人に接し語彙を多く暗記するは最も必要條件なり爰に項を設けて一言すると共に左に一般に用ゐらるるものを拔摘し讀者諸君の參考に供せり（去聲は極度の長調を用ゆるものと解すれば足れり）

平音	去聲
밤(パム)（夜）	밤(パーム)（栗）
섬(ソム)（俵）	섬(スーム)（島）
나(ナ)（我）	나(ナー)（年）（齡）
눈(ヌン)（眼）	눈(ヌーン)（雪）
말(マル)（馬）	말(マール)（話）
업(オプ)다(ター)（負ふ）	업(ウープ)다(ター)（無い）

장ᄉᆞ（商賣）　장ᄉᆞ（葬式）

以下去聲のみを記す

검（劒）　념려（心配）

거년（去年）　언제（何時）

엇지（何うして）　덥다（暑い）

덟다（穢い）　셩픔（性質）

정（定）　셩업（成業）

얼마나（幾許）　범（虎）

거즛말（虚言）　뎐당（質）

머오（遠い）　열다（開ける）

아오〔アーオ〕（知つて居るか）

쳐음〔チユーム〕（初めて）

거번〔クーボン〕（先日）（先達）

적〔チユーク〕（少ない）

거북하오〔クーブークハオ〕（工合が惡い）

말슴〔マールスム〕（お話）

헌병분디〔フンビヨングブンデイ〕（憲兵分隊）

전송〔チユンソオング〕（見送）

만히〔マーニー〕（非常に）

성명〔スーングミヨング〕（姓名）

히변〔ヘイービヨン〕（海岸）

엇더케〔ウツトツケイ〕（どう）

병〔ビーング〕（病氣）

경상도〔キングサングドー〕（慶尙道）

현긔〔ヒヨングイ〕（目まひ）

경찰〔キングチヤル〕（警察）

언문〔ウーンムン〕（諺文）

감사〔カムサー〕（有難う）

조흔〔チヨフン〕（よい）

나히〔ナーヒー〕（歳ハガ）

잘（チャール）（よく）

ᄆᆡᄆᆡ（メイーメイー）（賣買）

만흔（マーヌン）（多い）

ᄂᆡᆷᄉᆡ（ネイムセイ）（香）

편지（ピーンヂー）（手紙）

연（レーン）（軟らか）

ᄀᆡ량（ケイリヤング）（改良）

돈（トーン）（金）

안해（アーネイ）（妻）

第三章

(三) 助辭

(1) 名詞の語尾が子音を以て終る場合には其の子音の如何によりて種々に變化するものとす

(一) が　이(イー)　히(ヒ)　시(シ)　치(チ)

例

손이(ソニー)(手が)　발이(パリー)(足が)　갓시(カッシ)(笠が)

밧치(パッチー)(畑が)　눈이(ヌニー)(雪が)　국이(クーキー)(汁が)

(二) は　은(ウン)　흔(フン)　슨(スン)　츤(チュン)

例 손은《ソーヌン》(手は) 발은《パールン》(足は) 갓슨《カツスン》(笠は) 밧츤《パツチユン》(畑は)

(三) に 에《イー》 세《セイ》 혜《ヘイ》

例 갓세《カツセイ》(笠に) 손에《ソネイ》(手に) 밧혜《パツテイ》(畑に)

(四) の 의《イー》 희《ヘイ》 싀《セイ》

例 손의《ソ子イ》(手の) 발의《パレイ》(足の) 갓싀《カツセイ》(笠の) 밧희《パツテイ》(畑の)

(五) へ、に

例

의계(イケイ)　희계(ヘイケイ)

例

손의계(ソネイケ)（手に）（手へ）　밧희계(パツテイケイ)（畑ニ 畑へ）　달의계(タレイケイ)（月に）

（六）で、を以て　으로(ウロ)　스로(スロ)　츠로(チユロ)

例

손으로(ソーヌロ)（手で）　갓스로(カツスロ)（笠で）

（七）を　을(ウル)　흘(フル)　슬(スル)　츨(チユル)

例

손을(ソーヌル)（手を）　갓슬(カツスル)（笠を）　밧츨(パツチル)（畑を）

(八) より、から

例 에셔(イソー) 헤셔(ヘイソー) 셰셔(セイソー)

손에셔(ソネイソー)(手より) 발에셔(パレイソー)(足から)

(2) 名詞が母音を以て終る場には變化なし

(一) が 가(カ)

例 비가(ピーカ)(雨が) 븨가(ペイカ)(梨が) 코가(コホカ)(鼻が)

(二) は 는(ヌン)

例

(三) に

예（エイ）

비는（ビーヌン）(雨は)　ᄇᆡ는（ペイヌン）(梨は)　코는（コホヌン）(鼻は)

例　비예（ビエイ）(雨に)　ᄇᆡ예（ペイエイ）(梨に)　코예（コホエイ）(鼻に)

(四) の

의（エイ）・

例　비의（ビエイ）(雨の)　ᄇᆡ의（ペイエイ）(梨の)　코의（コホエイ）(鼻の)

(五) に、へ

의계（エイケイ）

例　비의계（ビエイケイ）(雨に)　ᄇᆡ의계（ペイエイケイ）(梨又は船に)

(六)　で、　を以て　로

例　비로（ピロ）(雨で)　ᄇᆡ로（ペイロ）(船で又は梨で)

(七)　を、に　를（ルュ）

例　비를（ピールル）(雨に)　ᄇᆡ를（ペイルル）(船に又は船を)

(八)　より、　から　에셔（エイソー）

例　비에셔（ピエイソー）(雨より、雨から)　ᄇᆡ에셔（ペイエイソー）(船より、から)

國朝	終聲音ある時	母音の時

が	이、시、히、치	가
の	의	의、ㅅ
に	에、세、헤、의、계、ᄭᅴ、더 려、으로、ᄒᆞᆫ틔、을	上の時と同じ
を	을、슬、흘、츨	를
と	과、ᄒᆞ고、으로	와、ᄒᆞ고、로、고

へ	으로(ウロ)、흐로(フロ)、스로(スロ)、츠로(チユロ)、노(ノ) 예(エ)	로(ノ)
から	부터(ブットー)、에셔(エーソ)、셔(ソー)、흔틔(ハンテー)	上の時と同じ
より	보다(ポダー)、보담(ポダム)	同上
しか ほか	밧게(パッケ)	同上
は	은(ウン)、슨(スン)、흔(フン)、츤(チユン)	는(ヌン)

ば（なば）	슬랑（スルラング）	랑（ラング）
も	도（ト）	도（ト）
でも	던지（ツンヂー）	던지（ツンヂー）
さへ	만（マン）、곳（コット）	만（マン）、곳（コット）
だけ	뿐（プーヌ）、만（マン）	뿐（プーヌ）、만（マン）
こそ	야（ヤ）	야（ヤ）

まで	까지(ガーヂー)	까지
づゝ	씩(シーク)	씩
まゝ	대로(デーロ)	대로
ように	처럼(チヨロム)	처럼
から	니(ニイ)(接尾)닛가 닛간드러	
も	도(ト)(感)	

第四章

(一) 動詞形容詞の活用法

動詞形容詞の三體

爲　하다　하여　한

行　가다　가　간

在(居)잇다　잇서　잇슨

無　업다　업서　업슨

見　보다　보아　본

用　쓰다　써　쓴

良　됴타　됴하　됴흔

右の例に就いて見るに用言は動詞と形容詞とを問はず(I)は動詞形容詞の語根に다又は타を附し(II)は語根に여、어、아、허、하及워を附し(III)に於てㄴを附す而して動詞の現在形は語根に는又はㄴを附して表はす即ち終聲ある語根には는を之なき語には單にㄴを附するものなり但し終聲若しㄹなるときは之を略してㄴを附す形容詞は動作を表はすものに非さるを以て形容詞の現在形には는。ㄴの連なる場合なし

又오、소等にて結ぶ場合は는、ㄴを附せず

過去形を作るには第二段の變化にㅅを附す

未來形を作るには語根に겟を附す

例示すれば左の如し(過去形)

1. 그집을보앗소 (クチプル ボアッソ)　其の家を見た
2. 내가갓소 (ネイカ カッソ)　私が行つた
3. 그리허엿소 (クリホ ヨッソ)　そう致した
4. 비가왓소 (ピカ ワッソ)　雨が降つた
5. 옷슬닙엇소 (オッスルイプオッソ)　着物をきた
6. 개가죽엇소 (ケイカ チュコッソ)　犬が死んだ
7. 물이 적엇소 (ムリー チユーコオッソ)　水が少なかつた

語幹に겟と云ふ助動詞を附すれば未來となる

例

1. 이집을보겟소（イチブルポケッソ）　此家を見よう
2. 내가가겟소（ネイカカケッソ）　私が參りませう
3. 그리허겟소（クリホケッソ）　そうしませう
4. 비가오겟소（ピカオケッソ）　雨が降るでせう
5. 밥을먹겟소（パブルモクケッソ）　飯をたべませう
6. 사람이만켓소（サラミーマンケッソ）　人が多いでせう
7. 강에물이적겟소（カンゲイムリチユークケッソ）　河に水が少ないでせう

（二）　動詞の打消態

打消の助動詞は못（モット）（不能）아니（アニ）（音便に因りて안（アン）となる）及마（マー）（勿れ）の三種なり前二

者は動詞の上に附し或は其の下に附することあり最後の마は常に動詞の下に附するものとす前二者が動詞の上に置かるるときは即ち下の動詞の働を打消すものにて其語根の形は못하다(出來ぬ)못가다(往けぬ)아니하다(爲さぬ)아니가다(往かぬ)等となり其の下に置かれて上の動詞の働を打消す場合は하지못하다(爲し能はぬ)가지못하다(往き能はぬ)等となる即主たる動詞と打消語との間に必ず지なる助動詞を挾み且打消語に하なる動詞を附するものとす又마も之と同樣主たる動詞との間に지を挾むも之は既に一の動詞なるが故に其の下に하を附するの要なく하지마라(爲すな)가지마라(往くな)の如く勿れの意味にて命令詞として使用せらる又往々にして止めるの意味に使用せらるることあり又例外として업(無)の語を用ひて能力の助動詞슈가잇を反說し不能の意を表すものあり其の意못と異ならず

1. 안이먹엇소　食べません
2. 안썻소　書きません
3. 못가겟소　往かれません
4. 가지안소　往きません
5 가지못하오　行かれぬ
6. 보지말고가시오　見ないて行きなさい
7. 갈슈가업소　往かれません
8. 알슈가업소　分りません

第五章

代名詞

(一) 他人の稱呼

너（汝）ノー　目上の者より下賤幼者を呼ぶ語

자네（貴樣）チャネイ　親友又は目下の者に用ゆ

사람（人）サラム　此の人彼の人等の場合に用ゆ

량반（兩班）ヤングバン（アナタ）　先方の身分不明の場合當り障りなく用ゆ

ᄃᆡᆨ（宅）テイク　普通一般にあなたの時に用ゆ

로형（ノーヒョグン）	親友間又は되と同樣に用ゆ
당신（タングシン）（當身）	あなたの尊稱
서방（ソーバング）（書房）	既婚男子の姓字の下に用ゆ
나아리（ナアリ）（進賜主）	判任官に對する敬稱
녕감（ニョングカム）（令監）	奏任官に對する敬稱
대감（テイカム）（大監）	勅任官以上に對する敬稱
계집（ケイチプ）（女）	下等社會の女房を稱す
녀편녀（ニョピヨンネイ）（婦人衆）	一般婦人を指稱す
마노라（マノラ）	女房たかみさん、奥さんに相當す
마님（マニム）	奥樣に相當す
부인（プーイン）（夫人）	

(二) 自 稱

나(吾) 予、吾、私等に通ずる稱呼

우리(吾等) 多く平等間に用ゆ

저(自分) 目上の者に對し自己を卑下す

쇼인(小人) 同 上

의신(矣身) 平民が官憲に對して用ゆ

(三) 路傍又は室内等にて他人を呼ぶ場合の語

여보 普通一般に用ゆるものと同じ

여보와라 目上の者より目下の者に對しこらと云ふ場合に用ゆ

여보게（ヨボケ）　親友間又は目下の者に對して用ゆおいと同じ

여보시오（ヨボシヨ）　もしの敬意を表せるもの

여봅시오（ヨボプシヨ）　もしの最上敬意を表せるもの

元來여보とは此方を見よの意にして內地語のもしに該當するものなるに往々內地人は여보則ち鮮人なりと誤譯する場合多し又鮮人中여보の本來の意味を了解せす內地人の여보と稱するは鮮人を愚かなる者と輕蔑するものなりとの曲解を爲す者あり共に注意すべきことなり

第六章

疑問法

疑問を表はすには單に語尾の音調を上ぐるものと나냐、느냐、이냐、나가、는가인가、닛가等の助辭を添加するものと二種類あり

1. 오늘가겟소（オヌルカケソツ）　今日行きますか
2. 날이좃숩닛가（ナリーナヨツスハニツカ）　天氣はよいですか
3. 나히얼마냐（ナヒウールマニヤ）　歳はいくつか
4. 언제갓느냐（ウーンヂイカンヌニヤ）　何時いつたか
5. 누가왓느냐（ヌカワンヌニヤ）　誰か來たか

6. 무슨 ᄎᆡᆨ이냐（ムスンチエキニヤ） 何本か

7. ᄆᆡᆨ쥬나（メクチユニヤ） 麥酒か

8. 누가 허엿나（ヌーカホヨンナ） 誰がしたか

第七章

命令法

朝鮮語の命令〃表はすには直接法と同一の形を用ゆるものと라、세等の助辭を用ゆるものと二種あり

1. 구경허여라（クーキョングホヨラ）　見物せよ
2. 이리오나라（イリオナラ）　此方に來い
3. 갓치가세（ガッチウカセイ）　共に行かう
4. 얼는와（オルルンワ）　早く來い
5. 어서가보자（オソカポチャ）　早く行つて見よう

6. 그리하시요（クリハシヨ） そうしなさい

7. 진지을자시오（チンヂールチャシヨ） ごはんを召上がれ

第八章

尊敬法

尊敬を表はす助辭は시の外외다。소이다、올시다。옵니다。읍니다。等あり尚國語に於ける御飯(진지)召し上がる(자시다)(잡수시다)等の如く初より尊敬の意を含める語あり

1. 들어오시오(ツウロオシヨ)　おはいりなさい
2. 안 녕 히하시오(アルリヨングギーハシヨ)　ご機嫌如何ですか
3. 공부하시오(コングブーハシヨ)　勉强しなさい
4. 칙을읽으시오(チエクルイルクシヨ)　本を讀みなさい

5. 가릇쳐주시오（カルッチョチユシヨ） 教へて下さい

6. 무엇슬보십닛가（ムオッスルボシムニッカ） 何をごらんなさるか

7. 신문을보지옵닛가（シンムヌウルボシオムニッカ） 新聞をごらんなさるか

8. 허물마시오（ホームルマシヨ） おとがめなさるな

9. 보아주시오（ボアチユシヨ） 見て下さい

第九章

感動詞

感動詞は語頭に置かるるものと語尾に附くものとの二種あり

1. 아이고무섭소（アイゴームーソプソ）　ああ恐ろしい
2. 아이고참우습소（アイゴーチヤムウースプソ）　ああほんとにをかしい
3. 아이고괴롭소（アイゴーコイロプソ）　ああ五月蠅い
4. 아이고언제 오셧소（アイゴーウンヂイーオ ソツソ）　たや何時來られました
5. 아보아라（アポアラ）　あれごらん
6. 야큰일이낫소（ヤクンイリナツソ）　やつ大變だ

7. 어렵소구려（オリヨプソ　クリヨウ）　むつかしいね

8. 좃슴니다그려（チヨツスムニ　タ　ク　リヨ）　ようございますね

9. 누가오는구나（ヌ　カ　オ　ヌン　グーナ）　誰か來た樣だな

注意

一、구려は소又は오にて終れる下に附す

一、그려はㅂ니다にて終る語の下に附す

第十章　單話

（イ）の部

(1) 엇덧소（ウイツトツソ）　如何ですか

(2) 어는거시오（オーヌンゴシヨ）　何れのものですか

아니오（アニヨ）　いーへ（否）或はそうでない

얼마나잇소（ウールマナイツソ）　幾何許りありますか

얼마식이오（ウールマシキヨ）　幾何宛ですか

얼마하오（ウールマハオ）　幾何しますか

얼마라도잇소（ウールマラトイツソ）　幾何でもあります

만치아니하오 (マンチアニハオ) 何程もいりませぬ

얼마나되오 (ウールマナトイヨ) 幾ら許りになるか

몃치나잇소 (メッチナイッソ) 幾つ許りあるか

언제쯤오시오 (ウーンヂエデムオシヨ) 何時頃いらつしやいます

그젓게왓소 (クヂヨッケイワッソ) 一昨日來ました

시방왓슴니다 (シーバングワッスムニダ) 今來ました

한세갑시다 (ハシケイカブシダ) 一緒に往きましよう

한세먹읍시다 (ハンゲイモクウブシダ) 一緒に喰べませう

어느길이갓갑소 (オーヌンキリーカッカブソ) 何れの道が近いですか

시방은업셔요 (ンパングンウープスヨ) 今はありません

조선어	読み	日本語
한잔 자시오	ハンヂャンチャシヨ	一杯お上りなさい
한잔 주시오	ハンヂャンチユシヨ	一杯下さい
엇덧슴닛가	ウーットッスムニッカ	如何ですか
밧비떠낫소	パッピートナッソ	急いで出立致しました
밧비허업시다	パッピーホオプシダ	急いで致しましよう
얼마나되오	ウールマナトイヨ	幾何程ありますか
얼마못 되오	ウールマーモットイヨ	幾うも有りません
엇지하오	ウッチハオ	如何しますか
여러가지잇소	ヨロカヂイッソ	種々あります
뜻밧게일이오	トウパッケイイリーオ	意外な事です

압흐오（アップオ） 痛みます

니가압흐오（イカアップオ） 歯が痛みます

계시오닛가（ケシオニッカ） 居られますか

잇슴닛가（イッスムニッカ） 居ますか

업슴 닛가（ウープスムニッカ） 居ませぬか

한그릇주시오（ハンクルツチユシヨ） 一杯下さい

하나뿐이요（ハナプニヨ） 一人丈けです

한 장 사시요（ハンヂヤングサシヨ） 一枚買なさい

한벌이삿소（ハンボリ! サッソ） 一着買ひました

한발만삿소（ハンバルマンサッソ） 一駄丈け買ひました

한마리만파오（ハンマリマンパオ） 一尾丈け賣ます

한 병 만사오나라（ハンビヨングマンサオナラ） 一瓶丈け買つて來い

한번둡시다（ハンボンヅウプシダ） (碁を)一回打ちませう

한번가보시요（ハンボンカポプシヨ） 一度行てごらんなさい

헐터이요（ホルトイヨ） 致します積りです

갓다왓소（カッターワッソ） 往つて來ました

(ハ)の部

대단히 죳소（テイダニーチヨーッソ） 甚だ好しい

어셔오시오（オーソオシヨ） 早く來い

꼿치써러졋소（コッチートロヂヨッソ） 花が落ちました

어서불너오나라 早く呼で來い

시작하오 始めます

처음보앗소 初めて見ました

말삼허시요 御話をしなさい

시작한지가 始めてから

져까락이업소 箸がありませぬ

시장허시겟소 腹が空きましたでしよう

시장허엿스니 腹が空いたから

어서가십시오 早く行きなさいませ

밧비가거라 早く行け

신고왓소 穿て來ました

신고가시오 穿て行かれませ

대머리요 禿げ頭です

쓸어라 掃けよ

다라가거라 走て行け

배가압흐오 腹が痛みます

어리석마오 馬鹿を云ふな

어리석은놈이오 馬鹿な奴です

파리가만히잇소 蠅が澤山たります

파리를쫏차라 蠅を拂ひよ

염질을알앗소（ユームヂルルアラッソ）
말아니오（マルアニヨ）
시 장 하오（シーチヤングハオ）
말마라（マルマラ）
처음뵈옵니다（チユームポイオムニダ）
말과틀니오（マルクワートウルニヨ）
들어갓소（ツロオカツソ）
들어갑시다（ツロカプシダ）
빌니시요（ビルリシヨ）
붓그럽소（ブッグロップッ）

流行病を患ひました
話にならぬ
腹が空りました
話をするな
初めてお目にかかります
話と違います
這入りました
這入りませう
拜借願ひます
恥しい

욕보왓소（ヨクポアッソ）　馬鹿みました

욕보오리다（ヨクポオリタ）　馬鹿を見るぞ

(二)の部

살머먹읍시다（サルモーモクウプシダ）　煮て食べませう

닭한마리사오나라（タイクハンマリサオナラ）　鷄一羽買て來い

고기사오나라（コーキサオナラ）　肉を買て來い

고기를살마라（コーキールサルマラ）　肉を煮よ

일본사람이요（イルボンサラミーヨ）　日本人ですか

둘이요（ツーリヨ）　二人ですか

다락에올나갑시다（タラケイオルラーカプシダ）　二階に昇りましよう

두번쎄요（ツーボンテエヨ）　二度目です

내가나오（ネイカナオ）　臭ひがします

냄새 가고약하오（ネイムセイカ コヤクハオ）　臭ひが悪ひです

됴션말을모르겟소（チヨッンマールルモ ルゲツソ）　朝鮮語を知りませぬ

갑작이올낫소（カプチヤキーオルラッソ）　俄かに騰貴しました

갑작이쌔러젓소（カプチヤキート ロ ヂヨツソ）　俄かに下落しました

(ホ)の部

기리옵니다（キリオムニタ）　ほめます

돗다러라（トッタロラ）　帆を掛けよ

돗달고가자（トッタルコ カヂヤ）　帆を掛けて行こう

참말이요	眞實です
결박허여라	捕縛せよ
다른곳도잇소	他の品も有ります
참그럿소	實にそうです
달은길노오시요	他の道から來なさい
달은길노가시요	他の道を行きなさい
비로쓸어라	箒で掃け
달은듸이샤허엿소	他の處に移りました
실샹을말허여라	事實を申立てろ
풀어뵈여라	解いて見せよ

노아보내시요 (ノアポネシヨ)　放免しなさい

가는실은끈어지오 (カヌンシルンクノオヂヨ)　細い糸は切れます

터졋소 (トーヂヨツソ)　ほころびました

다른말이요 (タルンマリヨ)　他の話です

다름이아니요 (タルミーアニヨ)　他の事ではありませぬ

다른말헙시다 (タルンマルホプシタ)　他の話を致しませう

척이업소 (チエキーウーブソ)　本はありませぬか

말녀두어라 (マルリヨーツオラ)　乾して置け

참 말 인가보오 (チヤムマリンカポオ)　實說らしい

(へ) の 部

ピョルローイリーウーブソ
별노일이업소

ピョルローウーブフ
별 로업소

ピョルローダルミーウーブツ
별노다름이업소

テイカニー オ ディ ツソ
뒤싼이어듸잇소

テイカヌル スロ ラ
뒤싼을쓰러라

パングル チャルスロラ
방을잘쓸어라

タプチングマッダーオナラ
답장맛다오나라

テイタプホ シ ヨ
되답허시요

ホイタビー ワッゾ
회답이왓소

ピョンヤングソーワッソ
평양 셔왓소

別に用事はありません

別にありません

別に異動はない

便所は何處にあるか

便所を掃けよ

部屋を能く掃けよ

返事を取つてこい

返事をしなさい

返事が來ました

平壤から來ました

평양으로가겟소（ピヨンヤングロカケッソ）　平壌に行きます

(ㅏ)の部

어데갓소（オーディッソ）　何處に行きましたか

어데로가오（オーデロガオ）　何處に行きますか

어데잇소（オヽディイッソ）　何處にありますか

아무데라도잇소（アムーデラトイッソ）　何處にでもあります

어데요（オディヨ）　何處ですか

잡앗소（チャパアッソ）　捕へました

무르시요（ムルシヨ）　問ひなさい

무러보시요（ムロボシヨ）　問ふて見なさい

무러보앗소　問ふて見ました

무러보셧소　問ふて見られましたか

무러보겟소　問ふて見ましよう

무러보리다　問ふて見ましよう

어듸로가는길이요　何處に行く道ですか

어느길이갓갑소　何の道が近いですか

머믈만하오　宿泊ます

자고갑시다　宿泊て行きませう

두부사오나라　豆腐を買て來い

두부사두어라　豆腐を買て置け

멀니가지마라 — 遠くへ行くな

멀니가시요 — 遠くに行きますか

엇지하오 — 如何しますか

길에물을뿌려라 — 道路に水を散けよ

엇더케허엿소 — 如何したか

시계가병이낫소 — 時計がくるひました

머오닛가 — 遠ひですか

머지안소 — 遠くありませぬ

거러가면좃켓소 — 徒歩で行けば宜ひです

거러가시요 — 徒歩で行きなさい

나이몃살이요（ナーヒーメッサリヨ）　年齢は何歳ですか

ᄯᅳᆺ밧게말삼이요（ツウツパツケーマルサミヨ）　とんだ言葉です

ᄯᅢ가느졋소（テイカヌヂヨッソ）　時が遅れました

천만의말삼이요（チヨンマンネイマルサミーヨ）　どう致しまして

단골이만타ᄒᆞ오（タンゴリーマンターハオ）　得意が多いそうです

흥졍이못되엿소（フングヂヨンギーモーットイヨッソ）　取引が出來ませぬ

흥졍을헙시다（フングヂヨングルホプシタ）　取引を致しませう

도리에맛당하오（トリエマッタングハオ）　道理にかないます

(チ)の部

적은거시좃소（チユクンゴシチヨヅソ）　小さいのが好ろしい

조션사람이요（チヨソンサラミヨ） 朝鮮人です

부친만계시요（プーチンマンケーシヨ） 父ばかりです

조션에도잇소（チヨソンチイトイツソ） 朝鮮にもあります

인력거타고갑시다（イルリヨツコタコカプシダ） 人力車に乘て行こう

인쳔 ᄭᅡ지얼/마요（インチヨンカヂウールマヨ） 仁川迄で何程ですか

갓갑소（カツガプソ） 近いです

삭슨얼 마냐（サクスンウールマニヤ） 賃錢は何程か

자종을씨셔라（チヤヂヨングルシソラ） 茶碗を洗らへ

차를가져오나라（チヤルルカヂヨオナラ） 茶を持て來い

지름길노가쟈（チルムキルロカヂヤ） 近道を行こう

지름길가지말고（チルムキルカヂマルコ） 近道を行かずに

등을가져가시요（ツングルカヂヨカシヨ） 提灯を持て行きなさい

등 불 업시단기지마오（ツングプルウープシタギチマオ） 提灯なしに歩くな

조심ᄒᆞ야가시요（チヨシムハヤカシヨ） 注意して行け

조심ᄒᆞ시요（チヨシムホシヨ） 注意なされませ

삶 히시요（サルピシーヨ） 注意しなさい

삭슬주어라（サクスルチユオラ） 賃錢をやれよ

달으지오（タルヂヨ） 違いましよう

조선말을아시요（チヨソンマルルアシヨ） 朝鮮語はご存じですか

조 곰하오（チヨッコムアオ） 少し知つてをります

조선말은도모지알슈업소　朝鮮語は少しも知りませぬ

차를드려라　茶を差上げよ

차와과즈를드려라　茶と菓子を差上げよ

세슈물떠오나라　洗面水を汲んで來い

세슈물기러왓소　洗面水を汲んで來た

세슈를허시요　洗面水をつかいなさい

(リ)の部

리슈가얼마요　里數は何程か

리슈는알슈업소　里數はわかりませぬ

룡산이어데요　龍山は何處ですか

염 병 은무섭소 （ユームビョングンムーソーブソ）
流行病は恐しいです

염 질 을조심허시오 （ユームヂルルチヨシムホシヨ）
流行病を注意なさい

량친이시하시요 （ヤングチニーシハシヨ）
兩親がおありですか

량친이업소 （ヤングチニーウーブソ）
兩親はありません

셩을내지마오 （スングルネチマオ）
立腹なさりますな

노자가얼 마나잇소 （ノーヂヤカウールマナイッソ）
旅費は何程ありますか

륙노로가시오 （ユングノロカシヨ）
陸路を往かれますか

륙 노 로가겟소 （ユーングノロカケッソ）
陸路を往きませう

니가되면파시요 （イカトイミヨンパシヨ）
利になれば賣なさい

니를과히먹지말고 （イルルクワヒーモクチマルコ）
利をあまりとらずに

변리는얼마식이요（ピョルリヌンウールマシキーヨ） 利子は何程宛ですか

（ヌ）の部

ᄲᅩᆸ아라（ポブアラ） 抜けよ

ᄲᅩᆸ을슈업소（ポプルスーウーブツ） 抜くことが出來ぬ

버스시요（ポスシヨ） 脱ぎなさい

벗고가거라（ポッコカコラ） 脱いで行け

잡지마라（チャブチマラ） 盜むな

잡 으려왓나보오（チャブウリヨワンナボオ） 盜みに來た樣だ

잡은거슬보앗소（チャブンゴスルポアッソ） 盜むのを見た

도적 놈 을잡어라（トーチヨングノームルチャボラ） 盜人を捕へよ

데어쥬시요　温めて下さい

데엿소　温めました

덜더워요　温ひです

저젓소　ぬれましたか

아니저젓소　ぬれませぬ

(ヲ)の部

갓흔거시요　同じものです

흔치아니ᄒᆞ오　多くはありませぬ

우숩소이다　可笑しいです

어리석은놈이요구려　愚な奴たね

쫏 차갓소 (チヨツヂヤカツソ)	追て往きました
쫏차가시요 (チヨツチヤカシヨ)	追て行きなさい
써러젓 소 (トロヂヨツソ)	落ちました
쌀갑시써 러지겟소 (サルカブシトロヂゲツソ)	米の値段がさがるでしよう
사시요 (サシヨ)	お買なさい
사시겟소 (サシゲツソ)	お買なされますか
나히몃쌀이요 (ナーヒーメツサリヨ)	御歳は何才ですか
ᄃᆡᆨ에계시요 (テイケイケシヨ)	お宅にいらつしやいますか
그 젹게삿소 (クヂヨツケイサツソ)	一昨日買ひました
사셧소 (サソツソ)	お買なさいましたか

자시겟소 (チヤシケツソ)
아니타시요 (アニタシヨ)
아니가시요 (アニカシヨ)
맛찬가지요 (マツチヤンカヂヨ)
소리가대단하오 (ソリカテイダンハオ)
떠나가시겟소 (トナカシゲツソ)
큰길로가겟소 (クンキルロカケツソ)
큰길은머어닛가 (クンキルンムオニツカ)
큰길은길이좃소 (クンキルンキリチヨツソ)
드러오시요 (ツロオシヨ)

お食りなさいますか
お乗りなさいませぬか
お出向なされますか
同じことです
音が大變に致します
お出立なされますか
大道で往きましょう
大道は遠いですか
大道は道がよいですか
お這入なさい

韓語	日本語
드려갑시다	れ這入致しましよう
차를가져오시요	お茶を持て來い
대단히됴와하오	大好物でござります
손님게드려라	お客樣に差上げよ
관계치안소이다	おかまい下されますな
미안하오	お氣毒です
불안하오	れ氣毒です
잡수시요	お食りなさい
무섭사외다	恐ろしうござります
무섭치안소	恐ろしくありませぬ

겁내지마라　怖れるな

내리시요　降りなさい

내려가시요　下りて行きなさい

내려왓습니다　下りて參りました

만타하오　多いそうです

업셧소　居りませんでしたか

잇셧소　居ましたか

씌를씌엿소　帶をしめました

이러나지못ᄒᆞ게　起られぬ樣に

서로맛납시다　お互にお目にかかりませう

잡스시요 (チアプスシヨ) お食りなさいませ

자시지마시요 (チアシヂマシヨ) お食りなされますな

걱정이되오 (コクチヨンギイトイヨ) 恐が出來ます（心配です）

싱각이업소 (セングガキイウープソ) 思召はありませぬか

싱각이잇소 (センガキーイツソ) 思召がありますか

그만두시요 (クマンツシヨ) お止れなさい

갸룻쳐주시요 (カルツトヨチユシヨ) 敎へて下さい

가룻쳐주어라 (カルツチヨチユオラ) 敎へてやれ

가룻쳐주엇나 (カルツチヨチユオツナ) 敎へてやつたか

가룻쳐주엇소 (カルツチヨチユオンソ) 敎へてやりました

사나희요（サナファイヨ） 男ですか

계집이요（ケイチビーヨ） 女ですか

어른이요（ウールニーヨ） 成人ですか

어른이아니요（ウールニーアニヨ） 成人でありませぬ

보내겟소（ボネゲッソ） 送りましよう

보내주시요（ポネチユシヨ） 送つて下さい

안즈시요（アンヂユシヨ） お座りなさい

기다리시요（キタリシヨ） お待なさい

뵈옵니다（ポイオムニダ） お目にかかります

깔으시요（カルシヨ） お敷きなさい

朝鮮語	讀方	日本語
그만두시요	クマンツシヨ	お停めなさい
그만두시요	クマンツシヨ	お構いなされますな
붓치시요	プッチーシヨ	お付けなさい
차롤자시요	チャルルチャシヨ	お茶を食りなさい
말허시요	マルホシヨ	お話なさい
ᄌᆞ미잇서요	チャミーイッソヨ	面白いですか
혼자계시요	ホンヂアケイシヨ	お獨りですか
무르시요	ムルシヨ	お問なさい
알앗소	アラッソ	覺へました
소리가낫습니다	ソリカナッスムニダ	音が致しました

대강얼마요（ナイカングーウルマヨ）
大凡幾何ですか

일엇슴니다（イロツ スムニ ダ）
遺失ました

일엇나보오（イ ロンナ ポ オ）
遺失た様だ

들어가셧소（ツロオ カ ソツソ）
お這入になりました

온돌에불ᄯᅵ여라（オンドレイ ブルチイヨ ラ）
温突に火を焚け

온돌에불ᄯᅵ엿소（オンドレイ ブルテイヨツソ）
温突に火を焚きました

젼송하오리다（チユンソングハオリ ダ）
お見送致しませう

젼송도못허엿소（チユンソングトモーツトホヨツソ）
お見送も致しませぬ

안즈십시요（アンヂ シブシ ヨ）
お座りなされませ

걸안즈시요（コルアンヂ シ ヨ）
お掛けなさい

알게하오리다 — お知せしませう
알게주시요 — お知せ下さい
뵈옵시다 — お目にかかりませう
우습소이다 — 可笑しいです
가쇼럽소구려 — 可笑いですね
느젓습니다 — 遅れました
안녕이주무셧소 — お早うございます
곤히시겟소 — お疲れなさいましたでしよう
곤ᄒᆞ엿소 — 疲れました
쥬무시요 — お寝みなさいませ

쥬무셧소　お寝みなさいましたか

손님이오셧소　お客様がいらつしやいました

손님이만하서　お客様が多くて

손님이만히옵니다　お客様が澤山來ます

악가운일이요　惜い事です

악가운사람이요　惜い人です

(ワ)の部

나도잇소　私もあります

내가가젓소　私が持て居ります

내게주시요　私しに下さい

우리들가겟소（ウリヅルカケッソ）　我等は行きます
아라드렷나（アラッロンナ）　了解つたか
나루비가잇소（ナルベイカイッソ）　渡し舟があります
건너가겟소（クンノーカケッソ）　渡しますか
좃치안소（チョッチアンソ）　惡いです
이져보렷슴니다（イヂヨポリヨッスムニダ）　忘れました
알슈업소（アルスーウーブソ）　了解りません
이져버렷소（イヂヨボリヨッソ）　忘れた
겻히가지마시요（キヨッテイカヂマシヨ）　傍きに行かれますな
내가ᄯᅧ렷습니다（ネイカテイリヨッスムニダ）　私が墜ちました

알슈업습니다 (アルスーウブスムニダ)　解りませぬ

나와갓치갑시다 (ナーワーカッチーカプシダ)　私と一緒に行きませう

ᄭᅳ려라 (クリヨラ)　沸騰せよ

ᄭᅳ렷습니다 (クリヨツスムニダ)　沸騰ました

ᄭᅳ려오나라 (クリヨオナラ)　沸騰して來い

ᄭᅳ려왓소 (クリヨワツソ)　沸騰して來ました

아니ᄭᅳ렷소 (アニクリヨツソ)　沸騰ませぬ

집석이업소 (チプツキーウーフソ)　草鞋はありませぬか

집석을사러갓소 (チプソークルサロカツソ)　草鞋を買に行きました

집적을사오나라 (チプソークルサーオナラ)　草鞋を買て來い

집석을신고가시요（チプソークルシンゴカシヨ）…… 草鞋を穿いて行きなさい

니질슈업슴니다（イヂルスーウーブスムニダ）…… 忘れられませぬ

잇지못하오（イッチモッタハオ）…… 忘れられませぬ

웃지마시요（ウーチマシヨ）…… 笑れますな

（カ）の部

밉슴니다（メイブスムニダ）…… 辛いです

빌니시요（ビルリシヨ）…… 貸しなさい

비렷슴니다（ビリヨッスムニダ）…… 借りました

쒸여주시요（クイヨーチユシヨ）…… 貸して下さい（金錢又は穀物に限る）

쓰시요（スーシヨ）…… 書きなさい

韓語	日本語
도라가겟소 (トラカケッソ)	歸りましよう
사겟소 (サケッソ)	買ましよう
삿소 (サッソ)	買ました
사오나라 (サオナラ)	買て來い
무던하오 (ムドンハオ)	かなりです
요부한집이요 (ヨブーハンチビーヨ)	金滿家です
요부한사람이요 (ヨブーヘンサラミーヨ)	金持です
과ᄌᆞ가져오나라 (クヮジャカヂョオナラ)	菓子を持て來い
과ᄌᆞ를드려라 (クワヂャルルツリヨラ)	菓子を差上げよ
치여라 (チヨラ)	片付けよ

상을치여라 — 片付けよ(膳をさげよ)

몸에해롭소 — 身體の害になります

우산을가져가시요 — 雨傘を持つて行けよ

양산을밧고가시요 — 蝙蝠傘をさして行かれよ

뒤싼이어데잇소 — 厠は何處にありますか

뒤싼이여긔잇소 — 厠は此處にあります

갓슬벅거라 — 笠を脫け

머리를빗스시요 — 髮をなでつけなさい

머리를싹그시요 — 髮を刈りなさい

머리를싹거주시요 — 髮を摘んで下さい

낫씨스시요 (ナッシ スシヨ) — 顔を洗なさい

싱각이업스면 (センガキー ウーブスミヨン) — 考へがなければ

싱각이업소 (センガキー ウーブソ) — 考へはありませぬ

싱각이잇소 (センガキー イッソ) — 考へがあります

싱각ᄒᆞ엿소 (センガク ハヨッソ) — 考へました

싱각ᄒᆞ겟소 (センガクホ ケッソ) — 考へましよう

싱각ᄒᆞ여라 (センガンホ ヨラ) — 考へろ

싱각ᄒᆞ시요 (センガクホ シヨ) — 考へなさい

싱각이잇나 (セこガキー インナ) — 考へがあるか

몸에맛지안소 (モメイ マッチ アンソ) — 體に合ひませぬ

모긔 장 을쳐라 (モークイチヤングルチヨラ) 蚊帳を釣れ

말녀두어라 (マルリヨツオラ) 乾かして置けよ

말낫습니다 (マルラツスムニダ) 乾きました

말 녓습닛가 (マルリヨツスムニツカ) 乾しましたか

거러두시요 (コロツシヨ) 掛けて置きなさい

거러두엇습니다 (コロツオツスムニダ) 掛けて置きました

맛타 보시요 (マツダーボシヨ) 臭で御覧なさい

맛타 보앗습니다 (マツダーポアツスムニダ) 臭で見ました

회계허여주시요 (ホイケイホヨチユシヨ) 勘定して下さい

회계ᄒᆞ엿소 (ホイケイホヨツソ) 勘定致しました

외상을주 시요　懸賣で下さい

외 상 줄슈업소　懸賣は出來ませぬ

갓가스로사랏소　辛ふじて助かりました

갓가스로되엿소　辛ふじて成功しました

(ㅋ)の部

죳소　好しい

둇치안소　好くありませぬ

요사이업소　近頃ありませぬ

잘팔겟소　能く賣れるでせう

됴흔쌀이요　好い米です

불너오셧소 (ブルローオ ソツソ) 呼でいらつしやつたか

니불과벼개가져오시요 (イ ブルクワベヨケイカ ヂヨオシヨ) 夜着下枕を持つていらつしやい

됴흔 총이요 (チヨフンチヨンキーヨ) 好い銃ですか

됴흔쥬막이업소 (チヨフンチユマキー ウーブソ) 好き宿屋がありません

됴흔쥬막이잇소 (チヨフンチユマキー イツソ) 好き宿屋があります

양복을입으시요 (ヤンボクールイ ブシヨ) 洋服を着用しなさい

모양이엇덧소 (モヤ ギーウツトツソ) 樣子は如何ですか

약한사람이요 (ヤクハンサラミヨ) 弱い人です

일이잇습니다 (イリー イツスムニダ) 用事があります

됴섭을ᄒᆞ시요 (チヨツブル ホシヨ) 養生しなさい

잘씨서라（チヤールシソラ） 能く洗へよ

겨우되엿소（キヨウイートイヨツソ） 漸やく出來た

골나내시오（コルラーネイシヨ） 擇り出しなさい

잘 닉엇소（チヤールイコツソ） 好く熟しました

쥰비를허여라（チユンビールルホヨラ） 用意をせよ

쥰비가되엿소（チユンビーカトイヨツソ） 用意が出來ました

（タ）の部

빗사오（ビツサヲ） 高價です

빗사지안소（ビツサヂアンソ） 高價くはありませぬ

만히잇소（マニーイツソ） 澤山あります

朝鮮語	讀方	日本語
만히업소	マニーウーブソ	澤山ありません
대단히곤히엿소	テイダニーコンホヨッソ	大層疲れました
콩갑시올낫소	コングカプシーオルラッソ	大豆相場があがつた
만히비가왓소	マニービカワッソ	澤山雨が降つた
떼시요	テイシヨ	焚きなさい
떼엿슴니다	テイヨッスムニタ	焚きました
닭알을사오나라	ダルカールルサオナラ	鶏卵を買て來い
갑슬무러보시요	カブスルムロボシヨ	代價を尋てごらん
갑슬주어라	カブスルチユオラ	代價を拂へよ
담배를붓치시요	ダムベイルルブッチシヨ	煙草をお喫なさい

먹엇습니다 (モコオツスムニダ) 喰べました

못먹겟습니다 (モツモクケツスムニダ) 喰べられません

미우취ᄒᆞ엿소 (メイウーチエホヨツソ) 大層酔いました

대단히 됴와하오 (テイダニーチヨワーハオ) 大好物でございます

먹을슈업소 (モクルスーウーヅツ) 食べられませぬ

너머지지안소 (ノモチチアンソ) 倒れなかつたか

너머젓소 (ノモヂヨツソ) 倒れました

섯지마시요 (ソツチマシヨ) 立つてはいけませぬ

무러보앗소 (ムロポアツソ) 尋ねて見た

무러보리다 (ムロボリダ) 尋ねて見ましよう

朝鮮語	讀方	日本語
무러보시면엇덧소	ムロポシミヨンウーットッソ	尋ねて見たらどうです
무러보아야ᄒᆞ겟소	ムロポアヤホゲッソ	尋ねなければならぬ
부족이되엿소	プーチヨキートイヨッソ	足らなくなつた
부족이요	プーチヨキーヨ	足らないです
넉넉ᄒᆞ오	ノングノクーハオ	足ります
모자라오	モヂヤラオ	足りませぬ
도와주시요	トワーチユシヨ	助けて下さい
도와주어라	トワーチユオラ	助けてやれ
긔별허시요	クイビヨルホンヨ	音信をなさい
긔별이왓소	クイビヨリーワッソ	音信が來ました

떠나시오　出立なさいますか

차자보앗소　尋ねて見ました

(ソ)の部

그리가시오　其方に行きなさい

그는못쓰겟소　其れは使へません

그것을가져오시오　其れを持つて來なさい

그런말이잇소　其樣話があるか

자네가ᄒᆞ엿소　そなたが致しました

그럿습닛가　そうですか

그럿소　そうです

그고기는무슨고기요 (クコーキーヌンムスンコーキーヨ)

그리허시요 (グリホシヨ)

그길노가시요 (クキルローカシヨ)

그리못가오 (クリモットカオ)

국슈를먹읍시다 (クークスールルモクウブシダ)

국 슈 가 둇 소 (クークスーカチョーツソ)

그렷치요 (クロッチヨ)

밧게나갑시다 (パッケイナカプシタ)

밧그로나가시요 (パックロナーカシヨ)

알지못허엿소 (アルチモットホヨッソ)

其の魚は何と云ふ魚ですか

左樣しなさい

其の道を行きなさい

其方に行けませぬ

蕎麥を食べませう

蕎麥が好しい

そですとも

外に出ませう

外に出なさい

存じませんでした

알치못허엿소

그고기는썩엿소

그럿치는안소

싹는거시됴소

그는거즛말이요

그자리는더럽소

쳔쳔히가시요

그리ᄒᆞ지마시요

젼송도못허엿소

젼송하오리다

存じませんでした

其肉は腐りました

そうではありません

削ると宜ひです

其れは嘘言です

其蓆はきたない

徐々と行きなさい

そんなになさいますな

送別も致しませんです

送別致しませう

시가가써러젓소（シカカトオロオヂヨツソ）　相場が下落しました

시세가올낫소（シセイカオルラツソ）　相場が騰貴しました

(ツ) の 部

달이낫습니다（ターリーナツスムニダ）　月が出ました

달이밝으니가시요（タリーパルクニカシヨ）　月が明るいから行きなさい

못쓰겟습니다（モツトスゲスムニダ）　使へませぬ

쓰겟습닛가（スゲツスムニツカ）　使へますか

질 긴듯 하오（チユルキンツートハオ）　丈夫ようです

질기 지안소（チユルキチアンソ）　丈夫はありません

데리고가시요（テイリコカシヨ）　連れて往きなさい

김치를내시요 (キムチ ルルチイシヨ)
漬物を出しなさい

싸노시요 (サアノシヨ)
包んで置きなさい

싸가져가시요 (サアカヂヨカシヨ)
包んで持つて行きなさい

장마가왓소 (チヤングマーカワツソ)
入梅が來ました

장마ᄯᅢ가되엿소 (チヤンマテイカトイヨツソ)
入梅の期になりました

ᄯᅡ라오시요 (タラオシヨ)
隨て來なさい

ᄯᅡ라가시요 (タラカシヨ)
隨て行きなさい

ᄯᅡ라왓소 (タラワツソ)
隨て來ました

ᄭᅮ미지마라 (クミヂマラ)
包まずにせよ

윤이나겟소 (ユーニーナケツソ)
光澤が出るでせう

곤허엿소（コンホヨッソ） 疲れました

지여주시요（チヨチユシヨ） 作つて下さい

짓기는지엿소（チユッキヌンチヨッソ） 作ることは作つた

맨드러야ᄒᆞ겟소（メインツロヤホケッソ） 作らねばなりません

민드럿슴닛가（メインツロオッスムニッカ） 作りましたか

(ネ)の部

자겟소（チヤケッソ） 寝ませう

잣소（チヤッソ） 寝ました

자셧소（チヤソッソ） 寝られましたか

갑시올낫소（カプシオルラッソ） 直段が上りました

갑시빗사오 (カプシ ピッサ オ)
直段が高いです

갑시얼마오 (カプシ ウルマ オ)
直段は幾程ですか

갑슬뎡헙시다 (カプスルチューングホプシダ)
直段を定めませう

갑슬좀ᄭᅡᆨ거라 (カプスルチヨムカツコラ)
直段を少しまけよ

파한단사오나라 (パーハンダンサ オナラ)
葱を一把買て來い

파좀더노시요 (パーチヨムトーノシ ヨ)
葱をも少しお入れなさい

나히몃살이요 (ナーヒーメツサ リ ヨ)
年齢は何歳ですか

나히스무살이요 (ナーヒース ムーサ リ ヨ)
年齢は二十歳です

잘만한데도업소 (チヤルマンハンデイトウーブソ)
寢るたけの所もありません

잘만하옵니다 (チヤルマンハオムニ ダ)
寢られそうです

부즈런이허시요（プヅヲニーホシヨ）　懇ろにしなさい

(ナ)の部

무슨말이요（ムスンマリヨ）　何の話ですか

무슨말슴이요（ムスンマルスミーヨ）　何の御話ですか

무슨일이요（ムスンイリヨ）　何用ですか

업습닛가（ウプスムニッカ）　無いですか

업스니불안하오（ウープスニプランハオ）　無いからお氣毒です

업스면사오시요（ウープスミヨンサオシヨ）　無ければ買つてこい

업셔도둇소（ウーブソトチヨツソ）　無くても好しい

허시요（ホシヨ）　爲さい

허십시요（ホシプシヨ） 為さいませ

허여라（ホヨラ） 為せよ

무어시오닛가（ムオシオニッカ） 何んですか

무슨꼿치요（ムスンコッチヨ） 何んの花ですか

무슨나무요（ムスンナムーヨ） 何の木ですか

무얼허시요（ムオルホシヨ） 何を成さいますか

몃시에떠나요（メッシーイトーナオ） 何時に出發しますか

몃니나잇소（メンニナイッソ） 何里程ありますか

몃니요（メンニヨ） 何里ですか

나희몃살이요（ナヒーメッサリヨ） 何歳ですか

무슨병이요 (ムスンビーンギヨ)　何の病ひですか

웨말니시요 (ウイマッリシヨ)　なぜとめるのか

던지지마시요 (トンヂチマシヨ)　投なさいますな

흘너가게되엿소 (フルローカケトイヨッソ)　流れる樣になつた

흘너가게하오 (フルローガケハオ)　流れる樣にしなさい

녀름은덥소 (ヨルームンツーブソ)　夏は暑いです

몃시나되엿소 (メッシナトイヨッソ)　何時になりました

아니허실터이요 (アニホシルトイヨ)　爲さらない積りか

섭섭ᄒᆞ오 (ソブソブハオ)　名殘り惜ひです

일홈을쓰시요 (イルームルスシヨ)　名を書きなさい

朝鮮語	讀方	日本語
곳쳐쥬시요	コッチヨチユシヨ	直して下さい
곳쳣슴니다	コッチヨッスムニダ	直しました
곳칠슈가업소	コッチユルスーカウーブソ	直し樣がありませぬ
못곳치겟소	モーットコッチゲッソ	直されませぬ
몃치나잇소	メッチナイッソ	何人程居りますか
낫슴니다	ナッスムニダ	全快りました

(ラ)の部

朝鮮語	讀方	日本語
ᄅᆡ년에하옵시다	チイニヨネイハオブシダ	來年に致しませう
ᄅᆡ년에ᄯᅩ오시오	チイニヨンネイトーオシヨ	來年又いらつしやい
ᄭᅳᆺ치낫슴니다	グッチナッスムニダ	らちがあきました

등잔을닥거라（ツングチヤヌルダツコラ） らんぷを磨け

등잔에불을켜시요（ツングチヤネイフルルキヨシヨ） らんぷに火を點けよ

란푸를가져오나라（ナンプールルカヂヨオナラ） らんぷを持て來い

란푸불을써시요（ナンプーブールルクーシヨ） らんぷの火を消しなさい

(ム) の 部

휫길을가지마라（ヘツキールルカヂマラ） むだ道を行くな

휫길노왓소（ヘツキルローワツソ） むだ道を來ました

마부를불너라（マーブールルブルローラ） 馬夫を呼べ

말타고갑시다（マルダコカプシダ） 馬に乘つて行きませう

말타고가겟소（マルダコカヘツソ） 馬に乘つて行きませう

말타고가시요 馬に乗て行きなさい

말타고가도둇소 馬に乗て行ても良しい

보리밥을먹으시요 麥飯を食ひなさい

버러지가싱겻소 蟲が發生ました

버러지가잇소 蟲が居ります

버러지을죽여라 蟲を殺せ

어려운말슴이요 六け敷話です

어려운일이아니요 六け敷き事ではない

(ウ)の部

밧는거시요 受取るものです

팔거시아니요（パルゴシアニヨ）　賣る物でありませぬ

일엇숩니다（イローツスムニダ）　失なひました

치는거시아니요（チヌンゴシアニヨ）　打つものではありません

소문이잇숩니다（ソムニーイッスムニダ）　噂がありました

거즛말ᄒᆞ지마라（クーヂンマルホヂマラ）　嘘言を云ふな

ᄯᅢ렷숩니다（テイリヨッスムニダ）　打ちました

닉엇숩니다（イーコーッスムニダ）　熟しました

살머먹읍시다（サルモーモークウブシダ）　烹でて食べませう

살머쥬시요（サルモーチユシヨ）　烹でなさい

살멋슴니다　烹でました
붓체는업소　團扇はないですか
붓체질허시요　團扇をお使ひなさい
의심헐거시업소　疑ふことはありませぬ
의심을마시요　疑ひますな

（ノ）の部

먹는물이요　飲水ですか
못먹는물이요　飲れぬ水です
타야헝겟소　乗らねばならぬ
타고갑시다　乗て行きませう

탑시다 (タブシダ)
냉슈써오시요 (ネイングスー、トオ、オシヨ)
잇다가먹겟소 (イッダカモクケッソ)
엿보지마시요 (ユーッポヂマシヨ)
엿보시요 (ユーッボシヨ)
빗켜노아라 (ビキヨノアラ)
빗키시요 (ビキシヨ)
남앗슴니다 (ナマッスムニダ)
잇다가허시요 (イッダクホシヨ)
잇다가가시요 (イッタカカシヨ)

乗りませう
冷水を汲で來なさい
後刻食べませう
覗いて見なさるな
覗いて御覽なさい
除けて置け
除きなさい
殘りました
後になさい
後に行きなさい

잇다가오리다（イッタカオリタ）　後に來ませう

잇다가하옵시다（イッタカハオブシタ）　後に致しませう

（ク）の部

ᄯᅥ오시요（トーオシヨ）　汲んで來なさい

ᄯᅥ왓소（トーワッソ）　汲んで來ました

ᄯᅥ가시요（トーカシヨ）　汲んで行きなさい

ᄯᅥ노앗소（トーノアッソ）　汲んで置きました

ᄯᅥ노시요（トーノシヨ）　汲んで置きなさい

상ᄒᆞ엿소（サングホヨッソ）　腐敗りました

상ᄒᆞᆫ거시업소（サングハンゴシウーブソ）　腐敗りたるものはありません

상치안소（サングチアンソ） 腐敗りません

입에맛소（イベイマッソ） 口に合ひました

설사를하오（ソルサルルハオ） 下痢ります

（ヤ）の部

싸게샀소（サケイサッソ） 安く買ひました

파리허엿소（バリホヨッソ） 瘠せました

그만두시요（クマニッシヨ） 止めなさい

쥬막이업소（チユマキーウーブソ） 旅館はありませぬか

쥬막이어데잇소（チユマキーオデイイッソ） 旅館は何處にありますか

함부로말마시요（ハムブロマルマシヨ） やたらに話をなさるな

보냇습니다（ポネッスハニダ） 遣りました

보내지마시요（ポネチマシヨ） 遣りますな

보내릿가（ポチイリツカ） 遣りませうか

구어주시요（クオチユシヨ） 燒いて下さい

구어먹으시요（クオモクシヨ） 燒きて食べなさい

집 세가얼 마요（チユプセイカオールマヨ） 家賃は何程ですか

헐게허시요（ホルケイホシヨ） 安くしなさい

싸게사셧소（サケイサツツ） 安く買れましたか

헐게파시요（ホルケイパシヨ） 安く賣ります

싸게팔니시요（サケイパルリシヨ） 安く賣りなさい

(マ)の部

또 오시요 又いらつしやい

참 그럿소 誠に左樣です

또뵈옵시다 又お目にかかりませう

미우덥습니다 實に熱ふございます

미우됴 와하오 實に好きです

참 말이요 實話ですか

미우미안하오 誠にお氣毒です

미우감사ᄒᆞ오 誠に有難ふございます

석냥을 사오시요 燐寸を買て來なさい

바로오시요 パロオシヨ　眞直にいらつしやい

바로가시요 パロカシヨ　眞直に行きなさい

바로말을허시요 パロマールルホシヨ　眞直に申立てよ

틀님이업소 ツールリミーウーブソ　間違ないですか

틀니지안소 ツールリチアンソ　間違いありません

(ケ)の部

구경운 못허겟소 クーキヨングンモツトホケツソ　見物は出來ませんか

구경 허러갑시다 クーキヨンゲホロカプシタ　見物に行きませう

검사허겟소 コームサホケツソ　檢査しませう

적간허시겟소 チヨクカンホシケツソ　檢査をなさいますか

경찰 관이요 (キングチャルクワニーヨ)
나막신이업 소 (ナマクシニーウープソ)
나막신을사오나라 (ナマクシヌルサオナラ)
연긔가닙 다 (ヨングイカ ネイプダ)
공부하옵시다 (コングブーハオプシダ)
공 부를허시요 (コングブールルホシヨ)
셔울에사오 (ソウレイサオ)
원산에갓다왓소 (ウオンサネイカッターワッソ)
시세가엇덧 소 (シセイカウーットオッソ)
맛돈으로사오시오 (マットーヌロサオシヨ)

警察官ですか
下駄かありませぬ
下駄を買て來い
烟がけむたい
稽古しませう
稽古なさいませ
京城に住ひます
元山に行つて來ました
景氣は如何でしたか
現金で買て來なさい

직젼 아니면 못파오（チュクチョン、アニミョン、モット、パオ）　現金でなければ賣れません

(フ)の部

부럿슴닛가（ブロッスムニッカ）　吹てたりますか

안부럿슴니다（アンブロッスムニダ）　吹いてたりませぬ

부럿슴니다（ブロッスムニダ）　吹て居ります

밤치마시요（パムチマシーヨ）　踏んではいけませぬ

잘 잇슴닛가（チャルイッスムニッカ）　無事で居りますか

다시오겟소（タアシーオケッソ）　再び來ましよう

다시오시요（タアシーオシーヨ）　再びいらつしやい

오겟슴니다（オケッスムニダ）　參りませう

朝鮮語	讀方	日本語
아니오겟소	アニオケツソ	参らぬでせう
왓슴니다	ワツスムニダ	参りました
올모양이요	オルモヤギーヨ	参るそうです
왓답듸다	ワツダプテダ	参つたそうです
깃부오	キツプオ	深いですか
깁 지안소	キツプチ アンソ	深くありませぬ
ᄇᆡ가잇소	ペイガイツソ	船がありますか
ᄇᆡ를대여라	ペイルルテヨラ	船を付けよ
ᄇᆡ를내여라	ペイルルネヨラ	船を出せよ
ᄇᆡ타고갑시다	ペイタコカブシダ	船に乗つて行きませう

요를ᄭᅡ러라 (ヨルルカロラ)
布團を敷け

목욕을감으시요 (モキヨクルカムシヨ)
風呂に御浴りなさい

목욕이나감으시요 (モキヨキナカムシヨ)
風呂にでもお浴りなさい

힝쥬질허여라 (ヘングヂールホヨラ)
布巾で拭けよ

힝쥬가져오나라 (ヘングヂーカヂヨオナラ)
布巾を持て來い

논하주시요 (ノナアチユシヨ)
分配して下さい

논하줄터이요 (ノナアチルトーイヨ)
分配してやる積りです

(コ)の部

여긔안지시요 (ヨークイアンヂシヨ)
此處にお座りなさい

이럿케되엿소 (イロッケイトイヨッソ)
此樣になりました

민망 하오　困ります

보시요　御覧なさい

올시다　御座います

뵈옵시다　お見せなさい

잘계시요　御無事ですか

잘 계시옵니다　ご無事であります

쌀이됴치안소　米は良くない

쌀한섬가져오시요　米一俵持て來なさい

쌀한되얼마요　米一升幾程ですか

이시계가 병이낫소　此時計が狂いました

한국어	讀方	日本語
이길이갓갑소	イ キリー カツカプソ	此道は近いですか
어름이다녹엇소	オル ミーターノコオツソ	氷が皆解けました
어름물을먹자	オルムムールルモクチヤ	氷水を飲もう
이물은먹겟나	イ ムールンモクケンナ	此水は飲めるか
사오시요	サーオ シ ヨ	買て來なさい
사두시요	サーツウシ ヨ	買て置きなきい
사오겟소	サーオ ケツソ	買ふて來ましよう
자리로싸라	チヤリ ロ サーラ	蓆で包めよ
인사하옵시다	インサ ハ オプシ タ	御挨拶致しませう
평안허시요	ピヨンアニーホ シ ヨ	御機嫌宜しうありますか

올흔말숨이요（オールンマルスミヨ） 御尤なはなしです

바둑 한번둡시다（パーツウクハンポンツウプシダ） 碁を一回打ちませう

께젓 숨니다（ケチヨツスムニダ） 毀れました

께젓 숨닛가（ケチヨツスムニツカ） 毀れましたか

얼엇숨니다（オーロツスムニダ） 凍りました

얼겟숨니다（オルケツスムニダ） 凍りませう

얼어붓텃숨니다（オロオプツトウスムニダ） 凍り詰めました

류하시겟소（ユーホシケツソ） ご逗留なされますか

머무실터이요（モームーシルトイヨ） ご逗留の御積ですか

사양 마시요（サヤングマシヨ） ご遠慮なさるな

허물마시요 (ホームルマシヨ) ご免下さい

사양마시요 (サーヤングマシヨ) ご遠慮なされますな

올흔말이요 (オールンマーリヨ) 御尤なれはなしです

됴와하오 (チヨウワーハオ) 好みます

조와아니하오 (チヨウワーアニハオ) 好みません

안녕히가시요 (アルリヨンギーカシヨ) ご機嫌よく往かれませ

안녕히자시요 (アルリヨンギーチヤシヨ) ご機嫌よく御やすみなさい

(エ)の部

갈녀라 (カルリヨラ) 撰び出せ

갈녀주시요 (カルリヨチユシヨ) 撰んで下さい

마루에안지시요 (マルーエアンヂシヨ) — 椽にお座りなさい

마루에안저라 (マルーイアンヂヨラ) — 椽に座れ

사양마시요 (サヤングマシヨ) — 遠慮なされますな

염 질이폐졋소 (ユームヂリーポオヂヨツソ) — 疫病が流行した

알맛치허여라 (アルマツチーホヨラ) — 好い加減にせよ

그림그려 주시요 (クリムクリヨチウシヨ) — 繪を書いて下さい

그림 참 잘 그렷 소 (クリムチヤムチヤールクリヨツソ) — 繪が實に好く書いてある

(テ)の部

날이흐렷 소 (ナーリーフリヨツソ) — 天氣が曇りました

날이개엿소 (ナーリーケヨツソ) — 天氣が晴れました

날이칩소　天氣が寒い

날이덥소　天氣が暖和です

뎐보노아라　電報を打て

뎐보를노앗소　電報を打ちました

총을노앗소　鐵砲を打ちました

뎐차를타시오　電車に乘りなさい

뎐차를타고갓소　電車に乘て行つた

손벽을친다　手を打つ（拍手する）

편지를쓰오　手紙を書きます

（ア）の部

第十章 單話

조선어	読み	日本語
져긔 잇소	チョーグイイッソ	あそこにあります
져긔 업소	チョークイウーブツ	あそこにない
모진사람이요	モーヂンサラミーヨ	悪しい人です
져 놉흔산이요	チョー ウブンサニーヨ	彼の高い山です
고맙습니다	コマプスムニダ	有難ふございます
감사하오	カムサーハオ	ありがとうございます
덥습니다	トウブスムニダ	暑ふございます
길가면 땀이나오	キルカミョンダーミナオ	歩るけば汗が出ます
땀이흘읍니다	ダーミーフルオムニダ	汗が出ます
땀이낫습니다	ダーミーナツスムニダ	汗が出ました

노다가가시요 (ノダカカシヨ) — 遊んで行かれませ

비가오겟소 (ビカオケツソ) — 雨が降りましよう

비가왓소 (ビカワツソ) — 雨が降りました

비가오오 (ビカオオ) — 雨が降ります

뫼시고가시요 (モイシコカシヨ) — 案內して行かれよ

뫼시고갓소 (モイシコカツソ) — 案內して行きました

씨쓰시요 (シスシヨ) — 洗ひなさい

씨서오나라 (シソオナラ) — 洗て來い

쟝마가지리옵니다 (チャングマーカチリオムニダ) — 長雨(霖雨)が續きます

너무싸오 (レームーサオ) — 餘り安い

너무빗사오 (ノームービッサオ)	餘り高い
맛겨 두어라 (マツキョーツウオラ)	預けて置け
맛 겻습니다 (マツキヨツスムニダ)	預けました
맛시잇소 (マーシーイツソ)	味があります
맛시업소 (マーシーウーブソ)	味がありません
맛시변허엿소 (マーシービヨンホヨツソ)	味が變りました
여시오 (ユーシヨ)	開けなさい
여러두시오 (ユーロオツーシヨ)	開けて置け
여러두엇소 (ユーロオツーオツソ)	開けて置きました
단기기거복하오 (タンギキークーポクハオ)	歩み難ひです

（サ）の部

고기가상허엿소　魚が腐りました

술이세엿소　酒が醒めました

술갑시얼마오　酒代は何程ですか

칩지안소　寒くありません

치우니불때여라　寒いから火を焚け

관계치안소　差支ありません

그리허옵시다　左様致しませう

그리허시요　左様致しなさい

그럿슴닛가　左様でございますか

그럿소 (クロツソ) — 左樣です

반찬이업소 (パンチヤニーウープソ) — さいがない

반찬을가져오나라 (パンチヤヌルカヂヨオナラ) — さいを持て來い

(キ)の部

급히가시요 (クピーツカシヨ) — 急に行きなさい

급히왓소 (クツピーワツソ) — 急いで來ました

들으시요 (ツウルシヨ) — 聞きなさい

들엇슴니다 (ツウロツスムニダ) — 聞きました

살펴 보시요 (サルピヨウポシヨ) — 氣を付けてごらん

알지못하오 (アルチモツトハオ) — 氣が付かない

말근물이요 (マルグンムリーヨ) 清潔な水ですか

손님이잇소 (ソンニミー イツソ) 客がありますか

손님은업소 (ソンニムン ウーブソ) 客は有ません

조심허시요 (チヨーシムホシヨ) 氣を付けなさい

더럽습니다 (トウロブスムニダ) 汚なふござります

더럼소 (トウロブソ) 汚ない

더럽지안소 (トウーロブチアンソ) 汚なくない

끈어젓소 (ク オチヨツソ) 切斷ました

념녀마시요 (ユームニヨーマシヨ) 氣づかひなされますな

념녀업소 (ユームニヨーウーブソ) 氣遣はない

불안하오（プランハオ） 氣毒です

(ユ)の部

쳔쳔히허시오（チヨン〲ニーホシヨ） 緩々なさいませ

갓다오시오（カツダーオシヨ） 往ていらつしやい

갓다왓소（カツダーワツソ） 往て來ました

가야허겟소（カヤホケツソ） 往かなくてはならん

저녁때가겟소（チヨニヨクテイカケツソ） 夕方參りませう

꿈을꾸엇소（クームルクーオツソ） 夢を見ました

목욕을감으시오（モキヨークルカムウシヨ） 湯にお浴（ハイ）りなさい

목욕감으러가겟소（モキヨクカムロウカケツソ） 湯に浴りに行きます

용서하시요 (ヨングソーホシヨ) 許して下さい

유명한사람이요 (ユーミヨングハンサラミヨ) 有名な人です

(メ)の部

식이시요 (シキーシヨ) 命じなさい

명텹을주시요 (ミヨングチヨブルチユシヨ) 名刺を下さい

명텹을내시요 (ミヨングチヨブルネシヨ) 名刺をお出しなさい

명함을드렷소 (ミヨングハームルツウリヨツソ) 名刺を差上ました

밥을되게짓지마라 (パブル トイケイチッチマラ) 飯を堅く焚くな

밥을무르게지여라 (パブル ハールケチヨラ) 飯を軟く焚け

밥갑시얼마요 (パブカブシ ウールマヨ) 飯代は幾程ですか

밥갑슬주어라（パプカプスルチュオラ） 飯代を遣れ

일어나셧습니다（イロオナ ソッスムニダ） 目醒になりました

식겨주지요（シッキヨチュシヨ） 命じて下さい

명령이나렷소（ミヨンリヨンギーナリヨッソ） 命令が下りました

（ミ）の部

보시요（ポシヨ） 見なさい

보앗습니다（ポアッスムニダ） 見ました

보셧습낫가（ポソッスムニッカ） 見ましたか

보와야허겟소（ポワヤホケッソ） 見ねばなりませぬ

물기러라（ムルキロラ） 水を汲めよ

물ᄯᅥ 오나라
물로씨셔라
다못쓰겟소
된 장 이ᄯᅳᆺ치안소
보암즉하외다
보고십흐소
다아시요
물을ᄲᅮ리지마오
물을ᄲᅮ려라
길에물을ᄲᅮ려라

水を汲んで來い
水で洗らへよ
皆な使用われません
味噌がよくありません
見事でございます
見たいです
皆なご存じですか
水を撒くな
水を撒け
道路に水を撒け

(シ)の部

미다지다다라 — 障子を閉めよ

미다지여러라 — 障子を開けよ

떠나가오 — 出發して行きます

오정이되엿소 — 正午になりました

섬에배를대여라 — 島に船を着けよ

하륙 허옵시다 — 上陸致しませう

저절 노녹엇소 — 自然と解けました

가만이허시요 — 靜にしなさい

아라드럿소 — 承知しました

회방올허지마라 (フイバングルホジマラ)　邪魔をするな

미들수업소 (ミドウルスーウープソ)　信じられません

장업이무어시요 (チヤングオビームーオーシヨ)　職業は何ですか

낭픠가되엿소 (ナングペイカトイヨツソ)　失敗になりました

걱정을마시요 (コクチヨングルマシヨ)　心配なさいますな

일을다허엿소 (イールアターホヨツソ)　仕事は皆濟みました

일을허여라 (イールルホヨラ)　仕事をせよ

자리가져오나라 (チヤリカヂヨオナラ)　敷物を持て來い

자리싸려라 (チヤリカロラ)　敷物を敷け

(ㅌ)の部

여러보지요（ユーロオポシヨ）　開いてご覽なさい

하나만주시요（ハナマンチユシヨ）　一つだけ下さい

매우빗사오（メイウービッサオ）　非常に高價です

과히비사지안소（クワヒービッサチアンソ）　ひどく高價はありません

불픠여가져오나라（プルビヨカヂヨオナテ）　火を起して持て來い

매우칩습니다（メイウーチプスムニダ）　ひどく寒うござります

대단히덥소（テイダニートウプソ）　非常に暑うございます

ᄭᅳᆫ이ᄭᅳᆫ어졋소（クニークノオヂヨツソ）　紐が切れました

하나식주시요（ハナシツクチユシヨ）　一つ宛下さい

소용이업소（ソヨンギーウープソ）　必用がありません

사람이퍽죽엇소 — 人が非常に死にました

펴노아라 — 廣げて置けよ

불떼여라 — 火を焚け

불떼지마라 — 火を焚くな

불켜시요 — 火を點けなさい

불꺼시요 — 火を消しなさい

불이어둡소 — 燈火が暗いです

(モ)の部

또좀주시오 — 尙少し下さい

가져오시요 — 持て來なさい

가져가시요 (カヂヨカシヨ) — 持て往きなさい

가져오겟소 (カヂヨオケツソ) — 持て來ませう

가져왓소 (カヂヨワツソ) — 持て來ました

가져가겟소 (カヂヨカケツソ) — 持て往きませう

가져갓소 (カヂヨカツソ) — 持て往きました

ᄯᅩ한번허여라 (トウハンボンホヨラ) — もう一度爲せよ

어더주시요 (ウードオチユシヨ) — 求めて下さい

니가남겻소 (イカナムギヨツソ) — 儲かりました

본젼을 업서젓소 (ボンヂヨンウルウープソヂヨツソ) — 元價をなくなしました

단풍 구경허러 갑시다 (ダンプングクトキヨンホロナプシダ) — 楓葉見物に行きませう

용서하시요 (ヨングソーホシヨ)　許して下さい

유명ᄒᆞᆫ사람이요 (ユーミヨングハンサラミヨ)　有名な人です

(メ)の部

식이시요 (シキーシヨ)　命じなさい

명텹을주시요 (ミヨングチヨブルチユシヨ)　名刺を下さい

명텹을내시요 (ミヨングチヨブルネシヨ)　名刺をお出しなさい

명함을드렷소 (ミヨングハームルツウリヨツソ)　名刺を差上ました

밥을되게짓지마라 (パブルトイケイチツチマラ)　飯を堅く焚くな

밥을무르게지어라 (パブルハールケチヨラ)　飯を軟く焚け

밥갑시얼마요 (パブカブシウールマヨ)　飯代は幾程ですか

밥갑슬주어라 (バブカブスルチュオラ)	飯代を遣れ
일어나셧슴니다 (イロオナソツスムニダ)	目醒になりました
식겨주시요 (シツキヨチユシヨ)	命じて下さい
명령 이나렷소 (ミヨンゲリヨンギーナリヨツソ)	命令が下りました

（ミ の 部）

보시요 (ポシヨ)	見なさい
보앗슴니다 (ポアツスムニダ)	見ました
보셧슴닛가 (ポソツスムニツカ)	見ましたか
보와야허겟소 (ポワヤホケツソ)	見ねばなりませぬ
물기러라 (ムルキロラ)	水を汲めよ

물ᄯᅥ오나라（ムルトーオナラ）　水を汲んで來い

물로씨셔라（ムルローシソラ）　水で洗らへよ

다못쓰겟소（ダーモットスケツソ）　皆な使用われません

된장 이둇치안소（トエンヂャンギーチョッヂアンソ）　味噌がよくありません

보암즉하외다（ポアムヂックハオイダ）　見事でございます

보고십흐소（ポコシップソ）　見たいです

다아시요（ターアシヨ）　皆なご存じですか

물을ᄲᅮ리지마오（ムールルプリチマオ）　水を撒くな

물을ᄲᅮ려라（ムールルプリヨラ）　水を撒け

길에물을ᄲᅮ려라（キレイムールルプリヨラ）　道路に水を撒け

(シ)の部

미다지다다라	障子を閉めよ
미다지여러라	障子を開けよ
써나가오	出發して行きます
오졍이되엿소	正午になりました
셤에비를대여라	島に船を着けよ
하륙 허옵시다	上陸致しませう
저절노녹엇소	自然と解けました
가만이허시요	靜にしなさい
아라드럿소	承知しました

회방을허 지마라 (フイバングルホ ジマラ) 邪魔をするな

미들수업소 (ミドウルスーウーブソ) 信じられません

장업이무어시요 (チヤングオビームーオーシヨ) 職業は何ですか

낭픽 가되엿소 (ナングペイカ トイヨツソ) 失敗になりました

걱 정을마시요 (コクチヨングルマ シヨ) 心配なさいますな

일을다허엿소 (イールルダーホ ヨツソ) 仕事は皆濟ました

일을허여라 (イールルホヨラ) 仕事をせよ

자리가져오나라 (チヤリカ ヂヨオナラ) 敷物を持て來い

자리싸려라 (チヤリカロラ) 敷物を敷け

(ヒ)の部

여러보시요 — 開いてご覧なさい

하나만주시요 — 一つだけ下さい

매우빗사오 — 非常に高價です

과히빗사지안소 — ひどく高價はありません

불픠여가져오나라 — 火を起して持て來い

매우칩습니다 — ひどく寒うござります

대단히덥소 — 非常に暑うございます

끈이끈어졋소 — 紐が切れました

하나식주시요 — 一つ宛下さい

소용이업소 — 必用がありません

사람이퍽죽었소（サラミー ポッチユコオッソ）　人が非常に死にました

펴노아라（ピョーノアラ）　廣げて置けよ

불떼여라（ブルテイヨラ）　火を焚け

불떼지마라（ブルテイチマラ）　火を焚くな

불켜시오（ブルキョーシヨ）　火を點（ツ）けなさい

불꺼시오（プリクーシヨ）　火を消しなさい

불이어둡소（プリー ウードップソ）　燈火が暗いです

（モ）の部

또좀주시오（トウチヨムチユシヨ）　尚（モウ）少し下さい

가져오시오（カヂヨオシヨ）　持て來なさい

朝鮮語	讀方	日本語
가져가시요	カヂヨカシヨ	持て往きなさい
가져오겟소	カヂヨオケツソ	持て來ませう
가져왓소	カヂヨワツソ	持て來ました
가져가겟소	カヂヨカケツソ	持て往きませう
가져갓소	カエヨカツソ	持て往きました
ᄯᅩ한번허여라	トウハンボンホヨラ	もう一度爲せよ
어더주시요	ウードオチユシヨ	求めて下さい
니가남겻소	イカナムギヨツソ	儲かりました
본젼을 업서젓소	ボンヂヨンウルウープソヂヨツソ	元價をなくなしました
단풍 구경허리갑시다	タンプングクーキヨンホロカプシダ	楓葉見物に行きませう

(セ)の部

선가는얼마요　船賃は何程ですか

사공을불어라　船頭を呼べ

못쓰겟소　用ゐられません

쓰겟소　用ゐられます

쟈리가업소　席がありませぬ

성품이엇더소　性質は如何ですか

돈을가져가시요　錢を持て行きなさい

돈을가져갓소　錢を持て行きました

상을내여가시오　膳を下げて行きなさい

빨내질허시요（パルレイヂルホシヨ） 洗濯をしなさい

빨내질허엿소（パル・イヂルホヨツソ） 洗濯をしました

돈을바드시요（トーヌルパドウシヨ） 錢を受取なさい

(ス)の部

좀낫습니다（チヨムナツスムニダ） 少し直りました

곳가시요（コツトカシヨ） 直ぐ行きなさい

숫불피여라（スーツプルピヨラ） 炭火を起せ

숫가져오나라（スーツカヂヨオナラ） 炭を持て來い

버려라（ポリヨラ） 棄てよ

버리지마라（ポリチマラ） 棄るな

맛첫습니다 (マッチョッスムニダ) 済みました

씨름합시다 (シルムハオブシダ) 角力致しませう

좀가릇처 주시요 (チョムカル チョウチュシヨ) 少し教へて下さい

건져 내시요 (コンヂョーネーシヨ) すくひ出しなさい

건져너엿소 (コンヂョーナヨッソ) すくひ出しました

밋ᄭᅳ러졋소 (ミックロヂョッソ) すべりこけました

허지마시요 (ホジマシヨ) 爲るなよ

수로로가시요 (スーロロカシヨ) 水路を行かれますか

틈을 잘 막아노아라 (トウムウルチャルマカーノアラ) 隙を能くふさげ

속히 갑사오리다 (ソクキーカプサオリタ) 速に返金致しませう

속히보내여주시요（ソクキーポネヨチユシヨ）

速に贈て下さい

第十一章　會　話

日常の話（其の一）

1 안녕히주무셧습닛가　お早うございます

2 아침진지잡수셧습닛가　朝飯をお上りなさいましたか

3 네먹엇슴니다　はい食べました

4 당신도잡수셧습닛가　貴方も御上りなさいましたか

5 아니올시다나는아직아니먹엇슴니다　いいゑ私は未だ食べません

6 점심은열두시에잡수십닛가　晝飯は十二時にお上りなさいますか

7 날마다일이잇서서한시에먹슴니다　毎日用事がありますので一時に食べま

8 저녁진지를갓다가드리십시요
夕食を持つて來て上げなさい

9 비가불너서저녁을먹기실습니다
腹が一杯で夕食は食べられません

10 아조아니잡수시면밤중에시장혀실터이니조곰이라도잡수십시요
全くお上りならんと夜になつてひもじいでしようから少しでも上りなさい

11 고맙습니다그러면조곰먹겟습니다
有難う御座いますそれなら少し食べませう

(其の二)

1 오날은일긔가대단히더옵습니다
今日は天氣が大層暑いです

2 그럿습니다더워서참젼딀수업습니다 　左樣で御座います暑くて堪りません

3 어듸든지산보나가십시다 　何處でも散步に出掛けませう

4 어듸로가시려옵닛가 　何處へ往くお積りですか

5 남산공원에올나가면엇더허겟습닛가 　南山公園に上つたら如何でせうか

6 거긔보다가뎐차를타고룡산으로가는것이돗겟습니다 　其處を見てから電車に乘つて龍山の方へ往くのがよいでしよう

7 그러면그리갑시다 　それなら其處に往きましよう

8 여긔서잠간노다가저녁셕도라갑시다 　此處で暫く遊んで夕方歸りましよう

(其の三)

1 오날은몃칠이요 　今日は何日ですか

2 오날은스무날이올시다　今日は二十日です

3 시방은몃시나되엿소　只今は何時ですか

4 시방ᄭᅩᆨ두시반이올시다　只今丁度二時半です

5 벌서 그럿케되엿슴닛가　もはやそんなになりましたか

6 오날은무슨요일이오닛가　今日は何曜日ですか

7 오날은월요일이올시다　今日は月曜日です

8 그러면어적게가공일이오닛가　それなら昨日が日曜日でしたか

9 릐일은무슨요일이오닛가　明日は何曜日ですか

10 릐일은화요일이올시다　明日は火曜日です

11 믜일밤몃점에주무시고아침몃시에힐　毎日夜は何時に御寢みになつて朝何時

어나시옵닛가　に起きますか

12 밤열점반쯤되면자고아침여섯시삼십분쯤되면일어나옵니다　夜十時半頃になつたら寝んで朝六時三十分頃になれば起きます

朝

1 해가아직아니쓰오　日が未だ登りません

2 해돗기젼에나갓슴니다　日の登らぬ前に出で行きました

3 아침바람을쐬지마라　朝風にあたるな

4 얼는일어나지아니면늣겟소　早く起きなければ遅くなります

5 아침먹고곳나갓소　朝飯を食べて直ぐ出て行つた

6 일어나서낫씨서라　起きて顔を洗へ

7 뒤간에좀갓소 便所に參りました

8 슈건을걸어두어라 手拭を掛けてたけ

9 니을잘닥가라 齒をよく磨け

10 양치질허시오 うがいをなさい

11 걸네를 짜서훔치시오 ぞうきんをよくしぼつて拭きなさい

晝

1 시방몃시나되엿슴닛가 唯今何時になりましたか

2 열두시넘엇소 十二時を過ぎました

3 오포가노왓소 午砲がなりました

4 긔덕소릐가뺑한다 汽笛の聲がなつて居ます

5 아이고시장하오 あゝ腹がへつた

6 배가곱파죽겟소 腹が空いてたまらん

7 오정쳣읍니다 十二時がなりました

8 다뎜심을먹읍시다 さあ晝飯を食べませう

9 반찬이맛당치안으니장앗지나주시오 お菜が味がないから福神漬でも下さい

晩

1 갓치져녁먹읍시다 共に夕食をしませう

2 져녁은벌서먹고왓소 夕食はとうに食べて來ました

3 해가다졋읍니다 日がくれました

4 해지기젼에어서가쟈 日がくれぬ前に早く行かう

5 찻차어두워집니다　　漸次暗くなります

6 방이캄캄하오　　部屋が暗い

7 어두웟스니불켜라　　暗くなつたから燈をともせ

8 어두워셔잘뵈지안소　　暗くてよく見いません

9 져녁쌔는일상밧부옵니다　　夕食は何時も忙がはしい

10 길이어두운듸살펴가시오　　途が暗いから注意しなさい

挨　拶（其の一）

1 고맙소　　有難う

2 감사하오　　感謝します

3 감축하오　　お目出度う

4 천만의말삼이요　何う致しまして

5 천만의오　いやいや

6 가엽습니다　た氣毒です

7 미안합니다　相濟みません

8 황송합니다　恐れ入ります

9 렴치가업습니다　面目なし

10 붓그럽습니다　恥しうございます

11 용서하시오　御ゆるし下さい

12 샤양치마시오　御遠慮なさるな

13 관계치아니하오　かまいません

14 신세를젓습니다 御世話になりました

15 아니올시다 いーい

16 이처럼친절이허시니고맙습니다 こんなに親切にして下さるからありがとう

17 도로혀불안합니다 却て相濟みません

18 아무것도대접지못허엿소 何も御かまい致しませんでした

19 대단히폐가되엿소 大層た邪魔しました

挨 拶(其の二)

1 밤시평안허시오

2 밤새안녕허시오 ―た早う

3 안녕히주무셧소 （朝の挨拶）

4 ᄐᆡ평히주무셧소

5 잘잣느냐

6 진지잡셧슴닛가

7 식후시오 今日は

8 식후인가 又は今晩は

9 밥먹엇느냐

挨拶（其の三）

1 쳐음뵈옵니다 初めて御目に掛ります

2 녜그럿슴니다 はい左樣で御座います

3 당신은누구시오 　あなたは何方ですか

4 가등이라하옵니다 　加藤と申します

5 어듸뎅기십닛가 　何處へ御勤めて御座いますか

6 은힝에뎅기옵니다 　銀行に勤めて居ります

7 요새는분주히시지요 　近頃は御多忙で御座いましょう

8 매우밧부옵니다 　隨分忙しう御座います

9 지금어듸사십닛가 　只今何處に御住ひですか

10 대화뎡에사옵니다 　大和町に住んで居ます

11 이다음자조상종하십시다 　これから始終御交際致しましょう

12 그리하옵시다 　左樣致しましょう

13 그만가겟습니다 もう御暇致します

14 천천이노다가가시요 御緩り遊んでお帰りなさい

15 안녕이가시요 御大事に御帰りなさい

16 평안이계시요 御機嫌好うお在なさい

17 틈이계시거든또놀너오시요 御暇の際は又遊びにいらつしやい

來　客（其の一）

1 잘오셧습니다 よくいらつしやいました

2 자이리로요 ど一ぞこちらい

3 오리간만에뵈옵니다 久し振りにお目にかかります

4 참오리뵙지못힛소 眞に久しく御目にかかりません下した

5 그동안무고히계셧슴닛가 其の後御障りはありませんですか
6 잘잇섯슴니다 無事です
7 방석을깔으시오 座布團をお敷きなさい
8 거러안지시오 樂に御座りなさい

來客（其の二）

1 담배를붓치시오 煙草をたつけなさい
2 담배는아니먹소 煙草はのみません
3 과즈를잡수시오 御菓子を召上がれ
4 차를잡수시오 御茶を召上がれ
5 가시렵닛가 いらつしやいますか

6 괴롬을ᄭᅵ쳣소 　た邪魔を致しました
7 해공을식혓소 　勉強をさまたげました
8 ᄯᅩ뵙시다 　又た目にかかりませう
9 ᄯᅩ오겟소 　又參りませう
10 안녕히가시오 　さよなら
11 예안녕히계시오 　さよなら

來客(其の三)

1 고향은어데오낫가 　故鄕は何處ですか
2 안형이모도몃분이오 　兄弟は皆何名か
3 다섯형제오 　五人兄弟です

4 다형님이오 皆兄樣ですか

5 형님은두분이오 兄は二人です

6 누님누의하나식잇소 姉妹一人宛あります

7 편히안지시오 樂に御座りなさい

8 과즈라도좀잡수시오 菓子も少し召し上がれ

9 녜고맙습니다 はいありがとう

10 사양마시오 御遠慮なさるな

11 그만가겟습니다 もうおいとまゝます

12 안녕히가시오 さよなら

13 또놀너오시오 又遊びにいらつしやい

14 또오겟소　又參りませう

來　客(其の四)

1 이리오너라　此方に來い(頼む)

2 쥬인이게시오　主人は御在宅か

3 네덕에계십니다　はい御在宅であります

4 어듸서오셧습닛가　何處から御出でになりましたか

5 이명함을령감께드려라　此の名刺を旦那様に差上げ

6 잠간기다리시오　暫く御待ち下さい

7 이리들어오십시요　此方へ御入り下さい

8 자올나오시요　さあ御上り下さい

9 방셕을깔으시오
座布團を御敷きなさい

10 편히안즈시요
御平になさい

11 턱내도다안녕허십닛가
御宅は皆様御變り御座いませんか

12 덕턱으로다별고업습니다
御蔭様で皆元氣で居ります

13 담비를붓치시요
煙草を御吸い下さい

14 셩냥이여긔잇습니다
まつちが此處にあります

15 담비는못먹소
煙草はのめません

16 그러면과자나잡수시요
それでは菓子なりとお上り下さい

17 사양마시요
御遠慮なさいますな

18 오릭안저셔해공을식혓소
長居して御勉強の御邪魔致しました

19 아니올시다더말슴허시다가가십시오

ごう致しましてもつとお話なすつてお歸りなさい

20 오늘은볼일이잇스니곳가야허겟슴니다

今日は已むを得ない用事がありますから直ぐ歸らねばなりません

21 그러면또맛납시다

それじや又逢ひませう

22 안녕이주무십시오

御靜に御寢みなさい(さようなら)

23 안녕이가시오

御靜に御歸りなさい(さようなら)

飯 食(其の一)

1 진지다되엿습니다

ご飯が出來ました

2 진지상드려라

お膳をさし上げよ

3 오날반찬이좃소구려　今日のお菜はよいですね

4 늘맛차가지오　いつも同じです

5 밥도잘지엿소　飯もよく作りました

6 좀되지아니하오　少しかたい

7 슉냉셔오나라　お湯を持つてこい

8 국이조곰싸오　汁が少し鹹い

9 만히먹엇소　澤山たべました

10 이예샹내여가거라　やゝお膳を下げよ

（其の二）

1 마시매우맛나오　味が大層よい

2 마시달아좃슴니다

味が甘くてようございます

3 마시쓰니구미가변하오

味が苦くて味口さわりが悪い

4 매우닛가혀씃치알알하오

大層辛いので舌のさきがひりつきます

5 짜서물만히먹겟소

鹹からくて水を澤山飲みます

6 시여서츔이흐르옵니다

酸くて唾が出ます

7 숭거우니무미하오

淡くて味がない

8 비려서먹을수업소

腥くて食べられない

9 입으로빠라먹어라

口で吸へ

10 입에무닛가녹는다

口にくわいたら解けた

11 씹어보니질긴고기오

かんで見たら堅い肉だ

(其の三)

1	목이마를졔냉슈를먹으면그런시원한일이업습니다	喉の乾いた時冷水を飲めば氣持がよい
2	주린김에먹으닛가마시비샹하오	飢いた時食べましたから味がすてきだ
3	만히먹어서배가터질나	澤山食ると腹が破れるぜ
4	실흐니그만두어라	いやだからもうよせ
5	취허니그만두어라	醉ふからもうよせ
6	냄새를맛하보시오	香を嗅いて見なさい
7	ᄐᆞ는ᄂᆡ가나오	きなくさい
8	눗는ᄂᆡ가나니솟을열어라	焦げくさいから蓋をあけよ

9 지린ᄂᆡ가나니요강을버려라　小便くさいから便壺を棄てよ

飲　食(其の四)

1 어서밥을먹읍시다　さあ御飯に致しませう

2 진지를잡수시요　御飯を御上り下さい

3 ᄇᆡ가곱ᄒᆞ시겟지요　御腹が御空きでせう

4 너무시장허지안소　餘り空腹ではありません

5 오늘반찬이좃소그려　今日の副食物は良いですね

6 늘맛찬가지지요　いつも同じことです

7 이회는맛지맛나오　此の刺身は大變うまい

8 국이좀슴거읍소　汁が少し淡鹽です

9 간장을더좀너시요 醬油をもう少し入れなさい

10 이김치는맛시좃소 此の漬物は味がよい

11 반찬이맛당치아니면장앗지나자시요 お菜がまずければ福神漬でも召し上りなさい

12 안쥬를더가져오너라 肴をもつと持つて來い

13 숙늉져오시요 お湯を持つて來て下さい

14 그만잡수시요 もうお止めですか

15 더먹을수업시만히먹엇슴니다 この上食べられぬ程澤山頂きました

16 그만상을치여주시요 もうお膳をお下げ下さい

17 양치물을가져오너라 含嗽水を持つて來い

18 잘먹고갑니다 よく食べて帰ります(御馳走様でした)

嗜 好

1 로형은약주를잡수시오 あなたは酒を召し上りますか

2 한잔도못먹소 一杯も飲めません

3 담배는편기하오 煙草は大層好きです

4 장긔를잘두신다하오 將碁は大層に上手なそうだ

5 장긔는며도몰느오 將碁はさつぱりわからん

6 바독을엇더케두시오 碁は何うですか

7 요새는사퇴후에무엇을허시오 近頃は御歸りになつてから何をなさますか

8 매양공을치오 每時も玉突をします

9 음악도조화허시오 音樂もたすきですか

10 거문고타실줄아오 琴も引けますか

11 몰느오 知りません

12 단소불줄아시으 笛は吹けますか

13 통소는불줄아오 尺八は吹けます

時間

1 시계를가지셧소 時計をた持ちですか

2 네가젓소 はい持て居ります

3 지금몃시나되엿소 只今何時頃ですか

4 여섯시오　六時です

5 벌서그러케되엿소　もうそんなになりましたか

6 언제맛첫소　何時合せましたが

7 오날오포에맛첫소　今日のどんに合せました

天　氣（其の一）

1 오날은일긔가좃습니다　今日は天氣がよい

2 하날이개엿습니다　空が晴れました

3 날이흐렷습니다　空が曇りました

4 해가셧습니다　日が登りました

5 별이낫습니다　星が出ました

6 비가긋쳣습니다　雨が止みました

7 비가와서쌍이집니다　雨が降つて地面がぬかります

8 몬지가일어납니다　塵が立ちます

9 래일은개일듯하오　明日は晴れるでせう

（其の二）

1 별안간에치워젓소　俄かに寒くなつた

2 날로를노아야허겟소　暖爐を置かねばならぬ

3 급히치워저서감긔가들엇습니다　急に寒くなつて風を引きました

4 손발이시려서압흡니다　手足がかぢかんで痛うございます

5 솜옷슬둑겁게입엇드니쌈이낫소　綿入を厚く着たから汗が出ました

6 오날밤에도치울모양이니방에물을만히써여라　今晩も寒い樣だから部屋に火を澤山たけ

7 춘여에고드름이달녓습니다　廂に氷柱がさがりました

8 벼루가어러붓허서먹을갈슈가업소　硯が氷ついて墨をする　さが出來ぬ

9 불에쬐여녹이시오　火にあて解かしなさい

10 올갓혼히는삼한사온도알슈업습니다　今年の樣な歲は三寒四溫も判りません

散步

1 릭일이별서공일이오구려　明日は最早日曜ですね

2 릭일은무엇슬허시랴하오　明日は何をなさるの積りですか

3 별노뎡한일은업소　別に定めた用はありません

4 그러면어듸로산보나갑시다

夫では何處か散歩に參りませう

5 네그리합시다

はいそうしませう

6 어듸로가랴오

何處に行きますか

7 글세오룡산으로갑시다

そうです龍山へ參りませう

8 그리합시다몃시쯤가랴오

そう致しませう何時頃行かれますか

9 아홉시쯤셔납시다

九時頃出かけませう

10 뎜심을가지고가랴오

辨當は持つて行かれますか

11 거긔도무엇먹을것시잇겟지오

あすこに何か食べられるものがあるでせう

1 어데가시는길이요 何處へ御行きなさるのですか

2 부산근쳐에갈일이잇습니다 釜山の近處に往く用事があるのです

3 출장을하시요 出張をなさるのですか

4 네그럿습니다 はい左樣でございます

5 몃시차에셔나십닛가 何時の汽車で御立ちですか

6 오전아홉시오십분차로셔나랴고하오 午前九時五十分の汽車で立とうと思ひます

7 어서뎡거장에갑시다 早く停車場に行きましよう

8 어서차표를삽시다 早く切符を買ひませう

9 짐은다부치시오 荷物は皆預けなさい

10 가벼우니들고갑시다 輕いから持つて行きましよう

11 이차를탑시다 此の汽車に乘りましよう

12 거긔는사람이만소 其處は人が込んで居ります

13 이리안즈시오 ここに御座りなさい

14 마조안즙시다 向ひ合ひましよう

15 벌서차가써낫소 もう汽車が出ました

16 칙을보면서갑시다 本を見ながら參りましよう

17 짐을삷혀보시오 荷物に氣を付けなさい

旅館

1 이근처에주막이잇소 此の附近に宿屋はあるか

1 조흔주막이잇습니다
良い宿屋があります

2 쥬막쥬인은누구요
宿屋の亭主は誰れですか

3 졔올시다
手前で御座います

4 여보하로밤자고갑시다
一晩泊つて行きたいです

5 이보담정한방이업소
これより清潔な部屋はないですか

6 져방으로가십시오
彼の部屋に御出でなさい

8 빈디는업습닛가
南京蟲は居らんかね

9 녜업습니다념녀마시오
はい居りませんから御心配なさいますな

10 진지를엇더케허십닛가
御飯は如何致しましようか

11 일등으로하야주오 一等にして下さい

12 시장허니밥얼는주오 飢じいから飯を早く下さい

13 녜그리하오리다 はい承知致しました

14 ᄅᆡ일아침일즉하야주오 明日の朝飯を早く致します

15 몃시에잡수시게하오릿가 何時頃御上りになる様にしましようか

16 여덟시쯤먹게하오 八時頃食べる様にして下さい

17 녜아무조록일즉하오리다 はい成るべく早く致しましよう

18 곤ᄒᆞ시겟스니그만주무시오 御疲れになりましたからもう御寢みなさい

19 요를내여어서ᄭᆞ려라 布團を出して早く敷け

20 평안이주무시오 御寢みなさいませ

21 뒤산이어듸잇소 便所は何處にありますか

22 여긔잇슴니다 此所にあります

23 세수허겟스니비누를가져오나라 洗面するから石鹼を持つて來い

24 수건도가져오시오 手拭も持つて來なさい

25 안녕히주무셧슴닛가 御早う御座います

26 밥을가져오나라 飯を持つて來い

27 밥갑슬세음히여주게 飯代を勘定してくれ

28 밥갑외에술갑슬주오 飯代の外に茶代をやる

29 매우고맙슴니다 誠に有難う御座います

30 안녕히가십시오 御機嫌よく往かれませ

買物(其の一)

1 양말잇소 靴下ありますか

2 예잇슴니다 はいあります

3 한켜레에얼마오 一足幾らですか

4 삼십전이오 三十錢です

5 구두솔잇소 靴はけありますか

6 예여러가지잇소 はい種々あります

7 이것이외누리업소 之れは掛價がないか

8 아니올시다 いいありません

買 物（其の二）

1 무엇을사시렵닛가　何を御買ひになりますか

2 옥편허고공칙을사옵니다　字引に雜記帳を買ふのです

3 자보십시요　さあ御覽下さい

4 엇던것이뎨일잘팔니오　どれが一番よく賣れますか

5 이것이잘팔니옵니다　これが一番よく賣れます

6 갑시얼마오　代價はいくらですか

7 사원오십젼이올시다　四圓五十錢で御座います

8 빗싸니조금싹가주시오　高いから少し負けて下さい

9 단골삼아사시니오젼만감히드리겟습　御得意にして買つて頂きますから五錢

10 니다 丈け引いて差上げます

11 더좀감허지 も少し負け

12 더는감헐슈가업습니다 此上は負かりません

13 험이잇스니다른것으로밧구어주시오 傷があるから外のと取代へて下さい

14 외누리도업고외상도아니하옵니다 掛値も掛賣りも致しません

15 돈내십시요 たまけします

16 이걸노거슬너주오 之をくづして取つてくれ

17 또달은것사실것업습닛가 又他に買ふ物はありませんか

18 또살것은업소 外に買ふものはありません

19 서적목록업소 書籍目錄ありませんか

20 네잇습니다한권드리겟습니다　はい御座います一冊上げませう

21 또맛납시다　左樣なら(客)

22 네또뵙겟습니다　左樣なら(店主)

商業

1 요새장사시세가엇덧소　此頃商買の景氣は如何ですか

2 장사는변변치못하오　商賣は不景氣です

3 쌀갑시떠러젓스니장사도변변치못하오　米の價が下りましたから商賣もはきはきしません

4 쌀은어듸서사들이오　米は何處から買ひ入れますか

5 싀골서직접으로거ᄅᆡ를하오　田舍から直接に取引します

6 벼를사오시오 籾を買つて來ますか

7 네벼를사다가찟소 はい籾を買つて來て搗きます

8 리익이남으오밋지오 利益がありますか損しますか

9 밋지지는아니하옵니다 損は致しません

10 맛돈으로파오외상으로파오 現金で賣りますか掛けで賣りますか

11 내젼에서는외상을못주오 私の店では掛賣は致しません

12 미양직젼이만습니다 普通現金が多うございます

農 業

1 나락이매우잘되엿소 稲が大層よく出來た

2 멥쌀은맘지여먹소 粳は飯にして食べます

3 찹쌀노ᄯᅥᆨ을하오　糯でもちを作ります

4 피밥은ᄉᆞᆫ기가업소　稗は粘氣がない

5 ᄌᆞ밥을먹으면강하오　粟飯を食べれば丈夫です

6 보리는노량으로만히먹소　麥は辨當にして澤山食べます

7 밀가로는소 이참만소　小麥粉は所要が眞に多い

8 옥슈슈는ᄶᅧ먹기도하오　玉蜀黍は蒸して食れます

9 콩을삶아라　豆をゆでよ

10 빅츄를져려김치를담그오　白菜を漬けて漬物にします

11 김쟝ᄯᅢ가되엿소　漬物時になりました

12 무로짠지를만드오　大根で澤庵を作ります

13 숫무는단맛시잇소　蕪は甘い味がある

14 파는냄새가독하오　葱は香がつよい

15 미나리내가죳소　芹の味がよい

16 우리는마늘은먹지안소　私は蒜を食べません

17 고구마는구어먹으면죳소　さつまいもは燒て食べればよい

18 감ᄌᆞ는요긔헐만하오　馬鈴薯は飯の代りになります

病 氣(其の一)

1 병좀보아주시오　病氣を一寸見て下さい

2 엇더하옵닛가　何うなされますか

3 매일오후가되면오한이나고두통이심　毎日午後になれば寒氣が出て頭痛が烈

희서견될슈업습니다 しくてたまりません

4 구미가잇소 食氣がありますか

5 구미도업고조곰도먹을슈업습니다 食氣もなく少しも食することができません

6 신열은업소 熱氣はないか

7 대단합니다 甚だあります

7 뒤는보기가관계치안소 大便は差支ありませんか

9 설사도나고후중도하오 下痢もし秘結もします

(其の二)

1 어듸믜을봅시다여긔가압흐오 診察をしませう此處が痛うございます

か

2 예거긔가늘압흐오무슨병이오
はい此處が常に痛みます何病ですか

3 쟝에셔병이낫소마는별노념려허실것업소
腸が惡いけれども別に心配はいりません

4 이약을잡수시면나으리다
此の藥を召上がれば直るでせう

5 엇더케먹으릿가
どうして飲みますか

6 하로세번식공복에자시오
一日三度宛食前に召上がれ

7 넹수는결단코먹지마시오
冷水は決してのむな

8 만일목이말으거든차든지더운물이나자시오
萬一喉が渴けば茶や湯を召上がれ

身 體

1 왼몸이다압흐오

2 너머져ᄲᅧ가퉁겨젓소

3 머리터럭이만습니다

4 정신이사납습니다

5 귀가어두워병신스럽소

6 니가ᄲᅡ젓습니다

7 밧버서낫씨슬틈이업소

8 얼굴은어엿부오

9 니마에쥬름살이젓습니다

身體が痛い

倒れて骨が挫けた

髮の毛が多うございます

覺が惡うございます

耳が遠いので馬鹿の樣だ

齒が拔けました

忙がしくつて顏洗ふ暇がない

容貌が美しい

額に皺が寄りました

10 목구녕에가시가걸녓소 咽喉に刺がさゝつた

11 혀가알々합니다 舌がぴりぴりします

12 슈염이길어서풍신이좃소 鬚が長くて風采がよい

13 그사람은눈쌀이사납소 あの人は目付が惡い

14 조름이저절노왓소 寢氣が自然と差して來ました

15 나른하야몸을움즉일슈업소 だるくつて體を動かすことが出來ん

遊 技

1 바둑과바둑판을내여둡시다 碁石と碁盤を出して打ちませう

2 장긔는둘줄모르오 將碁はさしようを知らん

3 고누는둘줄좀아옵니다 はさみ將碁はさしようは少し知て居ます

4 녀ᄌᆞ들이모혀샹뉵을치고노오
女供が集まつて雙六をして遊んで居る

5 화투나허고놉시다
花がるたでもして遊びませう

6 골ᄑᆡ노름은너기를허면안되오
骨牌遊は賭を致してはいけません

7 숨박쏙질을헙시다
隱れつこを致しませう

8 그사람은가장잘허는톄허고뛰염질허엿소
あの人は一番上手な振りして飛つこをしました

9 거문고타고뎌를부니춤을추어라
琴を彈いて笛を吹くから舞踏を踊れ

10 정월에는연올니는아희도잇고그네뛰는계집아희도잇소
正月には紙鳶あげる男の子もあり鞦韆にのる女の子もあります

11 씨름도쇠잇는편이이긔옵니다
角力も手のある方が勝ちます

12 어름지치기를잘허신다하오 氷滑がお上手だそうです

服裝

1 핫옷시짤나젓슴니다 綿入が短くなりました

2 겹옷슬한벌지여주오 袷を一枚造つて下さい

3 홋옷슬[illegible]라서풀먹여라 單衣を洗濯して糊をつけよ

4 그두루막이는보기좃소 其の周衣は見ばが宜しうございます

5 바지를호아주시오 袴を縫て下さい

7 치마주룸을잘잡아다고 婦人袴のひだを善く執て呉れ

8 소매가터젓슴니다 袖が破れました

8 토슈를씨고가시오 籐の吐手を箝めて行きなさい

9 휘항을쓰고가십시오 頭巾を被つてお出なさい

10 이버션이발에맛지안소 此の足袋は足にあいません

11 우장은그만두고갓모만가져가릿가 雨具はよして笠覆のみ持て行きませうか

12 갓끈이끈어졋습니다 笠のひもが切れました

13 녀편네은손에가락지를씨고머리에빈아를쏫는법이오 婦人は手に指環をはめ頭に簪をさすものです

14 그사람은늘안경을쓰고잇습니다 彼人は常に眼鏡をかけて居ます

15 이금으로가락지를맛추워주시오 此金で指環を誂らへて下さい

車馬

1 인력거를타고가시오
車に乗つていらつしやい

2 마차를타는사람이누구시오
馬車にお乗りの方は誰ですか

3 ᄌᆞ뎐거를급히달니지지마오
自轉車を早く乗り廻すな

4 ᄌᆞ동차가편니하오
自働車が便利です

5 뎐차를타고가십시오
電車に乗つて行らつしやい

6 여보ᄯᅱ여오르고ᄯᅱ여나리는것슨위틔하오
もし飛乗り飛下は危險です

7 뎡거장은어듸로가오
停車場へは何方へ行きますか

8 이길을바로가십시오
此の道を眞直に行きなさい

10 차장이호각을부니곳ᄯᅥ나겟소
車掌がきてきを吹いて居るから直ぐ發車するでせう

11 벌셔긔차가쎠낫습니다

12 개찰구에셔표씩기시작허엿소

船舶

1 오날련락션은무슨호요

2 오날밤은신라환이요

3 륜션이션창에단것슨볼만하오

4 돗단비가여러척이왓소

5 오날은비멀미허나보오

6 순풍이부니돗다러라

7 물결리이대단합니다

汽車は發車しました

改札口で切符を切り始めました

今日の連絡船は何丸ですか

今晩は新羅丸ですか

汽船が棧橋に掛つて居るのは見ものです

帆掛船が何隻も參りました

今日は船に醉ふらしいです

追手が吹くから帆を揚げよ

水勢が烈しうございます

8 바람이불어서파도가니러나오 風が吹いて波が立ちます

9 바위에부듯쳐파션허엿소 岩に衝突して難破しました

郵便

1 표를한장주오 切手一枚下さい

2 슈입인지왕복엽서봉함엽서를사오나라 收入印紙往復葉書封緘葉書を買つて來い

3 속달우편을취급하오 速達郵便を取扱ひますか

4 이편지를등긔로허여주시오 此の手紙を書留にして下さい

5 뎐보를노흐릿가 電報を打ちませうか

6 뎐보를노하주시오 電報を打つて下さい

7 환젼으로허여주시오 爲替にして下さい

8 뎐보환을허여주시오 電報爲替を組んで下さい

附録

朝鮮語の泰斗たる恩師金澤博士の動詞形容詞に關する學說は朝鮮語研究者に稗益する所尠なからざるべしと信じ左に附錄として掲載することとせり

朝鮮語の調査中動詞形容詞に關する事項

朝鮮總督府教科書調查委員文學博士　金澤庄三郎

第一節

動詞形容詞は語法の中樞にして新に一國語を學習せんとするものは先づその主力をこの上に注がざるべからず然るに朝鮮語に於ては從來未だ完全なる文法なく歐米學者の研究中には頗る精緻なるものなきにあらずといへども、しかも東西言

語の性質同じからざるが故に我等より見ていまだ慊らざるものあるは自然の數なり、故に動詞及形容詞に關する事項につきても韓佛字典中のConjugasion alphadétique:—Lesterminaions d'un verbe modéle arrangées par ordre alphabetique 及びGale氏のCorean grammatical forms 等ありといへどもなほ研究の餘地を存するもの頗る多く。例へば朝鮮語文法不備の結果として所相使役相を表はす助動詞いまだ明瞭ならざるが爲め、本來一動詞の變化と見るべきこれらの諸形が一一獨立動詞として字書中に記載せらるるの奇觀を呈せり。これ朝鮮語學習者をして勞力を空費せしむるのみならず、朝鮮語文法をして徒らに繁雜に陷らしむる弊あり、故に本論文は主として此の方面の整理に著手せり。

國語文法に於ては所相即ち所謂受身動詞は能相即ち所謂働掛動詞と動詞あり(有)と

の複合よりなる例へば、

能相	所相
聞く	聞かーる
見る	見らーる
思ふ	思はーる

而してこの所相一轉して自動詞となることあり

所相		自働
聞かーる	聞かーゆ	聞こーゆ
見らーる	見らーゆ	見ーゆ
思はーる	思ほーゆ	覺ーゆ

またこれと同一構造にて他動詞より自動詞を作ることあり例へば、

他動	自動
揚ぐ	上がーる
馳す	走しーる
捨つ	廢たーる
染む	染まーる

されば本居春庭がその「詞通路」に自他の別を說き自動他動と共に所相をも一括して論じたるは故あることにして、後人がこれを粗略なりとするこそ却て詞の本性に通ぜざるものといふべし、この他なほ次の例の如 自他の別はなくとも意義のやや轉ずるものあり形容詞より自動詞を作るもあり。

盡く　　疲かーる
落つ　　劣とーる
咲く　　盛かーる
敏し　　覺とーる
直し　　直ほーる

この語法は朝鮮語に於ても全然同一の構造によりて示さる、朝鮮語に於ける動詞あり(有)は ir(일) or (을) にしてまた i(이) o(오) u(우) と省略せらるることあり、かくて此等が他の動詞語根と複合して自他所相使役相等の別をなす。

(一) 所相を造る例

차다　蹴る　　채이다　蹴らる

막다	塞ぐ	막히다	塞がれる
박다	打込む	박히다	打込まれる
밟다	踏む	밟히다	踏まれる
누ᄅᆞ다	壓へる	눌니다	壓へられる
물다	嚙む	물니다	嚙まれる
부ᄅᆞ다	呼ふ	불니다	呼ばれる

（二） 他動詞を造る例

건너다	渡	건네다	渡す
ᄯᅳ다	浮ぶ	ᄯᅴ이다	浮べる
닙다	著る	닙히다	著せる

타다	乘る	ᄐᆡ히다	乘せる
삭다	冷める	식히다	冷ます
오르다	上がる	올니다	上げる
살다	活きる	살니다	活かす
시다	夜明ける	ᄉᆡ우다	夜を明かす
ᄂᆞ리다	下がる	ᄂᆞ리우다	下げる
ᄒᆞ리다	濁る	ᄒᆞ리우다	濁らす

（三） 自動詞を造る例

얽다	絡む	얽히다	絡まる
싸다	積む	싸히다	積もる

듯다 聞く 들니다 聞える

（四）二重に他動詞を造る例

안쎠 坐る 안채우다 坐らせる

ᄋᆡ쓰다 心配する ᄋᆡ씌우다 心配させる

타다 乗る 틔우다 乗せる

뜨다 浮ぶ 씌우다 浮べる

덥다 温い 데우다 温める

서다 立つ 세우다 立てる

ᄆᆞ르다 乾く 말니우다 乾かす

자다 泊る 재우다 泊らす

（五） 使役相を造る例

먹다 食ふ 먹이다 食べさせる

알다 知る 알외다 知らせる

쓰다 冠る 씨외다 冠らせる

놀다 遊ぶ 놀니다 遊ばせる

닷다 走る 달니다 走らせる

찌다 醒める 찌우다 醒めさせる

띄다 帶する 띄우다 帶させる

（六） 形容詞より他 詞を造る例

넓다 廣い 넓히다 廣げる

놉다	高い	놉히다	高める
더럽다	汚い	더러히다	汚ごす
덥다	温い	데히다	温める
ᄇᆞᆰ다	明るい	ᄇᆞᆰ히다	明にする
붉다	赤い	붉히다	赤くする
좁다	狹い	좁히다	狹める
자르다	短い	잘니다	短くする
뷔다	空しい	뷔우다	空にする
늣다	遲い	늣추다	遲くする
낫다	賤しい	낫초다	賤しめる

第二節

次に國語文法に於て動詞が更に加行音に活用してやゝその意義を變じまた名詞が加行音に活用して動詞となることあり。

動詞　　加行活用

萎ふ　　塞へーぐ

攻む　　閱めーぐ

泣く　　嘆げーく

怖づ　　驚ろーく

名詞　　加行活用

股　　股ーぐ

綱　綱ーぐ

肩　肩ーぐ

朝鮮語に於てもこれと同一の例あり。

담다　漬ける　담그다　漬ける

심으다　植ゑる　심그다　植ゑる

좀으다　浸す　좀그다　浸す

얼다　凍る　얼구다　凍る

잠으다　鎖す　잠그다　鎖す

너르다　廣い　넑다　廣い

달다　熱い　듥우다　爍く

니르다　謂ふ　　닑다　讀む

불　火　　븕다　赤い

물　水　　믉다　水氣多い

而已ならず朝鮮語に於てはこれを以てまた自他所相使役相を區別することあり、但しこれらの場合にK音のCh音に轉ずることあるを注意すべし。

（一）所相を造る例

쫏다　追ふ　　쫏기다　追はれる

닥다　磨く　　닥기다　磨かれる

담다　盛る　　담기다　盛られる

안다　抱く　　안기다　抱かれる

（三二） 他動詞を造る例

ᄯᅥᆯ다	慄ふ	ᄯᅥᆯ치다	振り拂ふ
곳다	正しい	곳치다	正す
굿다	堅い	굿치다	堅める
신다	穿く	신기다	穿かす
숨다	隱れる	숨기다	隱くす
벗다	脫ぐ	벗기다	脫がす
남다	殘る	남기다	殘こす
검다	黑い	검기다	黑くする
옮다	遷る	옴기다	遷す

맛다　任される　맛기다　任かす

（三）自動詞を造る例

뭇다　埋める　뭇치다　埋まる

석다　雜ぜる　석기다　雜ざる

삼다　造る　삼기다　生れる

썩다　折る　썩기다　折れる

（四）使役相を造る例

넘다　越ねた　넘기다　越ねさせる

기울다　傾く　기우러치다　傾かせる

쌔우다　悟る　쌔우치다　悟らせる

안싸	坐る	안치다	坐らせる
씻다	拭く	씻기다	拭かせる
감다	浴む	감기다	浴みさせる

第三節

最後に國語文法に於て動詞が更に波行音(P)または痲行音(m)に活用してややその意義を變じ、形容詞及び名詞が波行或は痲行音に活きて動詞となることあり。

(一)動詞が更に波行痲行に活く例

移る	移ら―ふ
打つ	歌た―ふ
浮く	浮か―ぶ

(二)形容詞より動詞に轉ずる例

淺し	嘲―む
忙し	勇―む
廣し	廣―む

(三)名詞より動詞に轉ずる例

脣	脣―む
腹	腹―む
力	力―む

荒す 爭そーふ	白し 白ーむ	爪 適ーむ
住む 住まーふ		
祈ぐ 願ーがふ		
呼ぶ 呼ばーふ		
柵く 圍こーむ		
裂く 裂くーむ		

朝鮮語に於てもこれと同一の例あり

（一）動詞形容詞の更にpm音を活用する例		（二）形容詞より動詞に轉ずる例	
너르다 廣い	넓다 廣い	업다 無い	업습다 輕蔑する
썰다 澁い	썳다 澁い	얏다 淺い	얏잡다 嘲ける

살오다 燒く 삶다 煮る

져르다 短い 젊다 若い

먹다 食ふ 먹음다 含む

(三) 動詞より形容詞に轉ずる例

즐기다 喜ぶ 즐겁다 嬉しい

놀나다 驚く 놀납다 怖しい

쉬다 休む 쉽다 易い

그리다 戀ふ 그립다 戀しい

웃다 笑ふ 우삽다 面白い

반기다 喜ぶ 반갑다 嬉しい

낫다 卑しい 낫잡다 嘲む

(四) 名詞より動詞形容詞に轉ずる例

내 煙 냅다 煙い

발 足 밟다 踏む

발 足 밟다 步數で測る

사람 人 사람스롭다 男らしい

의심 疑心 의심스롭다 疑しい

다사 多事 다사스롭다 忙しい

해　　害　　해롭다　害になる
새　　新　　새롭다　新しい
대사　大事　대사롭다　事事しい
보비　寶　　보비롭다　大切な

앗기다　惜む　앗갑다　惜しい
밋다　信じる　밋부다　確な

上記數項に亙りて述べる事實は日鮮兩語に共通する語法なれども、國語文法に於てもその一部分はいまだ學者の認め得ざるところに屬すれば、文法不備の朝鮮語に於てこれらの等閑視せらるゝは怪しむに足らざるところなり。然れども動詞の自他等に關する法則はいづれの國語に於ても最も重大視する問題なれば、新たに朝鮮語を學ばんとする人人のためにここにその概要を敍說せり、學說に關する事項は別に論述する日あるべし。

第四節

國語に於て「目くら」といひ「風をひく」といふを朝鮮語にては「目が遠い」「風が入る」といふ、かくの如き動詞の獨特の用法はその數決して少なからず、いま左にその數例を擧げて初學者の參考に資せんとす。

(一) 주다 (與へる)

닷주다	錨を下ろす	못주다	釘を打つ	속주다	內心を明かす
침주다	鍼を打つ	빗주다	金を貸す		

(二) 들다 (入る)

병들다	病氣にかかる	농들다	膿を持つ	물들다	染まる
번들다	番が來る	바람들다	風を引く	밤들다	夜が更ける

잠들다 寐込む　흉년들다 凶年なり　감을들다 日旱がつづく

(三) 먹다 (食ふ)

욕먹다 辱しめられる　아라먹다 合點する　료먹다 給金を取る

귀먹다 耳が聞えぬ

(四) 잡다 (取る)

초잡다 起草する　터잡다 土地を選ぶ

(五) 되다 (成る)

잡되다 雜ざる　성실되다 出來上がる　성되다 生(ナル)である

만작되다 滿酌する

(六) 놋타 (置く)

원두놋타 苽畑を作る 슈놋타 繡をする 침놋타 鍼療治をする

(七) 맛다 (會ふ)

뢰맛다 突き返へされる 미맛다 鞭打たれる 바람맛다 氣が狂ふ

살맛다 非命を遂ぐ

(八) 나다 (出る)

겁나다 怯れる 결말나다 結末がつく 구역나다 嘔吐する

낫나다 顏が賣れる 성나다 腹が立つ 발각나다 發覺する

(九) 타다

치위타다 寒さにあたる 녀람타다 暑さにあたる 노염타다 怒りつぽい

물타다 水をうめる 돈타다 金錢を受取る

（十） 보다 （見る）

아오보다 弟が生れる 뒤보다 便所に行く 장보다 市場に行く

（十一） 쓰다（用ふ）

ᄋᆡ쓰다 心配する 악쓰다 亂暴する 무릅쓰다 冒す

벌쓰다 罰する

（十二） 바리다 （捨てる）

일허바리다 失ふてしまふ 니져바리다 忘れてしまふ

（十三） 가다 （行く）

금가다 ひびが入る 축가다 減りが出る

（十四） 오다 （來る）

비온다　　雨が降る　　잠온다　　眠くなる

此の他進行を示す助動詞の如きも亦屢用ひられて恰も一種の成語をなすものなればに其の數例を掲ぐべし。

업다　　無い　　업서지다　　無くなる

굽다　　曲がる　　굽으러지다　　曲つてゆる

기울다　　傾く　　기우러지다　　傾いてゆく

ᄶᅵ다　　破る　　ᄶᅵ여지다　　破れる

ᄭᅳᆫ타　　切る　　ᄭᅳᆫ어지다　　切れる

듥다　　疎い　　듥어지다　　疎くなる

살　　肉　　살지다　　肉つく

기름　　脂　　기름지다　　脂つく

成語より見たる内鮮語の比較

朝鮮に於ける日用文は通常漢字と諺文とを混用せるものなるか故に内地に於ける五十音と同樣なる諺文を修得せは此種の朝鮮文は了解することを得へきも同一なる成語にして種々の理由の下に國語と朝鮮語と彼是意義の相違せるものあり例へは공부(コングブー)(工夫)の熟字は國語に於ては「クフウ」と「コウフ」と兩樣に使用せられ居れとも朝鮮語にては稽古又は勉强の意となり又内地語にて内相(朝鮮語ネイサング)と云へは普通内務大臣の略稱なるに朝鮮語に於ては内相と書し普通妻君のことを指稱するか如く或は縱令内地語と朝鮮語と意義同一なる場合に在りても其の使用範圍著しく異なれるもの等ありて實際上の問題としては朝鮮特有の成語に精通す

るに非されは日常の會話は勿論漢字と諺文とを混用せる日用文を了解すること至難なり今參考の爲此種の主なる成語を列擧すれは左の如し（左の成語は舊官立漢城外國語學校に於て調査せるものに基き取捨增補し諺文並之か發音を附せるものなり）

朝鮮語	國語
남편（男便）	夫（又ハ男子）
동생（同生）	弟
ᄂᆡ상（內相）	妻君
외숙（外叔）	舅
사촌（四寸）	従兄弟
식구（食口）	家族

朝鮮語	國語
계시（季氏）	令弟
중시（仲氏）	令兄又令弟
서방（書房）	主人
녀편（女便）	妻（又婦人）
안ᄒᆡᆼ（雁行）	兄弟
빅시（伯氏）	令兄

륙 촌(六寸) 再從兄弟
삼 촌(三寸) 叔父
일 가(一家) 親族
총 각(總角) 未婚男子
족 하(族下) 甥
친 구(親舊) 朋友
빅 졍(白丁) 穢多
일 슈(一手) 名人
범 졀(凡節) 暮向
쳬 증(滯症) 胃病

팔 삭(八朔) 癡愚
관 황(官況) 俸給
락 사(落仕)
다 졍(多情) 親切
미 련(眉連) (馬鹿 愚鈍)
숙 슈(熟手) クック
량 반(兩班) 紳士
형 셰(形勢) 家計
괴 질(怪疾) 虎列剌
칙 방(冊房) 書記

체임(遞任) 免職
졸망(拙妄) ちつぽけ
미몰(埋沒) 無情
소창(消暢) 鬱散
조심(操心) 用心
곡정(曲情) 心配
불상(不祥) 不憫
짐작(斟酌) 推察
거동(擧動) 行幸
단속(團束) 取締

긔침(起枕) 起床
하학(下學) 放課
발명(發明) 辯解
고집(固執) 剛情
자미(滋味) 興味
리치(理致) 理屈
시비(是非) 爭論
전장(傳掌) 引繼
출입(出入) 外出(散步)
상학(上學) 登校

토셜(吐說) 自白
작난(作亂) 惡戲
오입(誤入) 道樂
상고(相考) 調査
공심(空心) 食前
점심(點心) 晝飯
남초(南草) 煙草
고초(苦草) 唐辛
당목(唐木) 金巾
거ᄒᆡ(去核) 綿

장갑(掌甲) 手袋
소문(所聞) 噂
잡기(雜技) 賭博
침채(沈菜) 漬物
도장(土醬) 味噌
엽초(葉草) 葉煙草
쥬단(綢緞) 絹物
목화(木花) 棉
도미(道味) 鯛
비누(飛陋) 石鹼

설당(雪糖) 砂糖
안쥬(安酒) 肴
세가(貰家) 貸家
가ᄃᆡ(家垈) 家敷
사랑(舍廊) 客間
이층(二層) 二階
간역(看役) 工事監督
ᄀᆡᆨ쥭(客竹) 煙管
등잔(燈盞) 小洋燈
족자(簇子) 掛物

토란(土卵) 里芋
여염(閭閻) 民家
정자(亭子) 別莊
ᄒᆡᆼ낭(行廊) 長屋
벽장(壁欌) 押入
벽돌(壁石) 煉瓦
교의(交椅) 椅子
명함(名啣) 名刺
ᄎᆡᆨ갑(冊匣) 本箱
ᄎᆡᆨ상(冊床) 机

고간(庫間) 倉
편지(片紙) 手紙
쥬지(周紙) 卷紙
쟝긔(掌記) 商目錄
치부(置簿) 帳簿
정간(正間) 罫
좌긔(左開) 左記
상오(上午) 午前
오정(午正) 正午
ᄅᆡ일(來日) 明日

투서(套書) 印判
ᄎᆡᆨ의(冊衣) 表紙
등긔(登記) 書留
시표(時表) 懷中時計
슈판(數板) 算盤
명정(銘旌) 名簿
도즁(都中) 共同
하오(下午) 午後
공일(空日) 日曜日
ᄌᆡ명일(再明日) 明後日

지작일(再昨日) 一昨日
상년(上年) 昨年
후년(後年) 明後年
향자(嚮者) 先頃
거번(去般) 先般
금번(今番) 今般
등분(等分) 等級
각색(各色) 種々
불가불(不可不) 是非
좌우간(左右間) 兎角

일전(日前) 先日
거년(去年) 先年
자고(自古) 古來
후제(後際) 後日
일간(日間) 近日
ᄅᆡ두(來頭) 將來
시작(始作) 開始
정녕(丁寧) 屹度
거번 居半 大概
간혹(間或) 間々

곡절(曲折) 仔細
이허(裏許) 內容
몰슈(沒數) 全部
회미(佈徵) 不明瞭
쳔극(荐棘) 閉門
괄시(恝視) 蔑視
쟝마(長霾) 梅雨
슈작(酬ー酢) 應對
셩관(誠欵) 親切
민망(憫ー忙) 困ル 面倒

형편(形便) 有樣
회방(毀妨) 妨害
거갑(居甲) 一番
빅쳑(排斥) 敵對
슈유(受由) 許可
시톄(時體) 流行
미몰(埋沒) 不人情
셩관(誠欵) 親切
훈슈(訓手) 助言
치하(致賀) 慶賀

朝鮮語	讀方	漢字	日本語
실톄	シル チエー	(失體)	失禮
납채	ナプ チエー	(納彩)	結納
너간	オイ カン	(內艱)	母ノ死
쥬축	チユーチユク	(追逐)	交際
변통	ピヨングトング	(變通)	周旋
긔별	クイ ピヨル	(寄別)	通知
작별	チヤクピヨル	(作別)	見送
건지국	コンチエーク	乾材局)	藥種屋
미장	ミ ヂヤング	(泥匠)	左官
직전	チク チヨン	(直錢)	現金
젼갈	チヨン カル	傳喝)	取次
외간	ヲイ カン	(外艱)	父ノ死
소상	ソ サング	(小祥)	一周忌
인사	イン サー	(人事)	挨拶
션물	ソン ムル	(膳物)	進物
퇴정	トイチヨング	(退定)	延期
척사	チエク サー	(冊肆)	本屋
사공	サー コング	沙工)	船頭
외상	オイ サング	(外上)	掛賣
환젼	フワンチヨン	(換錢)	爲替

어음(於音) 手形
결젼(結錢) 租税(地税ノ場合)
츄심(推尋) 取立
젼집(典執) 質入
텬동(天動) 雷
사틔(沙汰) 山崩
산소(山所) 墓地
션창(船艙) 波止場
슈ᄑᆡ(水敗) 水害
괴속(怪石) 庭石

도ᄆᆡ(都賣) 卸賣
흥셩(興成) 取引
힝하(行下) 酒手(ポチ)
일긔(日氣) 天氣
셕가산(石假山) 築山
젼답(田畓) 田畑
동산(東山) 庭園
하륙(下陸) 上陸
수도(水道) 下水
지동(地動) 地震

日鮮 訓點 千字文

天 アメ テン 하늘 텬
地 ツチ チ 따 디
玄 クロイ ゲン 감을 현
黃 キナイ コウ 누루 황
宇 ノキ ウ 집 우
宙 オホゾラ チウ 집 쥬

洪 オ・イナル コウ 넙을 홍
荒 ヒロシ コウ 거출 황
日 ヒ ニチ 날 일
月 ツキ グワツ 돌 월
盈 ミツル エイ 찰 영
昃 カクル ショク 기울 칙

辰 ホシ シン 별 진
宿 ヤドル シユク 잘 숙
列 ツラナル レツ 별 녈
張 ハル チヨウ 베플 장
寒 サムシ カン 찰 한
來 キタル ライ 올 ᄅᆡ

暑 アツシ シヨ 더울 셔
往 ユク ワウ 갈 왕
秋 アキ シウ 가을 츄
收 オサムル シウ 거들 슈
冬 フユ トウ 겨을 동
藏 クラ ザウ 감출 장

閏 ウルウ ジユン 윤달 윤
餘 アマリ ヨ 남을 여
成 ナル セイ 닐울 셩
歲 トシ サイ ᄒᆡᆺ 셰
律 フヘ リツ 법측 뉼
呂 フヘ リヨ 법측 녀

調 トヽノフ チヨウ 고로 조
陽 ヒナタ ヤウ 볏 양
雲 クモ ウン 구름 운
騰 ノボル トウ 날 등
致 イタス チ 닐을 티
雨 アメ ウ 비 우

露 ツユ ロ 이슬 노
結 ムスブ ケツ 미줄 결
爲 タメ イ ᄒᆞᆯ 위
霜 シモ サウ 서리 상
金 コガネ キン 쇠 금
生 ムマル セイ 날 성

麗 ウルハシイ レイ 빗날 녀
水 ミツ スイ 물 슈
玉 タマ ギヨク 구슬 옥
出 イヅル シユツ 날 출
崑 ヤマノナ ゴン 뫼 곤
岡 オカ コウ 뫼 강

劍 ツルギ ケン 칼 검
號 ナヅクル ゴウ 이름 호
巨 オ・イナル キヨ 클 거
闕 カクル ケン 집 궐
珠 タマ シユ 구슬 쥬
稱 ホムル シヨウ 일카를 창

夜 ヨル ヤ 밤 야
光 ヒカリ コウ 빗 광
果 コノミ・クダモノ クワ 실과 과
珍 メヅラシイ チン 보비 진
李 スモヽ リ 외얏 니
柰 カラナシ タイ 벗 ᄂᆡ

菜 クサビラ サイ 나물 ᄎᆡ
重 オモシ ジユウ 무거울 중
芥 カラシ カイ 겨ᄌᆞ ᄀᆡ
薑 ハジカミ キヤウ ᄉᆡ양 강
海 ウミ カイ 바다 ᄒᆡ
鹹 シオハユシ カン ᄶᆞᆯ 함

河 カワ カ 물 하
淡 アハシ タン ᄆᆞᆰ을 담
鱗 ウロクズ リン 비늘 린
潛 ヒソム セン ᄌᆞᆷ길 잠
羽 ハネ ウ 깃 우
翔 カケル シヤウ ᄂᆞᆯ미 상

龍 タツ リウ 룡 룡
師 ツカサ シ 스승 ᄉᆞ
火 ヒ クワ 불 화
帝 ミカド テイ 님금 졔
鳥 トリ チヨウ 새 조
官 ツカサ クワン 벼슬 관

人 ヒト ジン 사름 인
皇 スベラギ コウ 님금 황
始 ハジメ シ 비로솔 시
制 ツクル セイ 지을 졔
文 フミ ブン 글월 문
字 アザナ ジ 글자 자

乃 スナハチ ナイ 이에 ᄂᆡ
服 キル フク 닙을 복
衣 コロモ イ 옷 의
裳 モツソ シヤウ 치마 상
推 オス スイ 밀 츄
位 クラヰ ヰ 벼슬 위

讓 ユヅル ジヨウ ᄉᆞ양 양
國 クニ コク 나라 국
有 アリ イウ 잇슬 유
虞 ソナウ グ 나라 우
陶 スヘモノ トウ 질것 도
唐 カラ トウ 나라 당

弔 トムロウ チヨウ 됴상 됴
民 タミ ミン ᄇᆡᆨ셩 민
伐 ウツ バツ 칠 벌
罪 ツミ ザイ 허믈 죄
周 アマネシ シウ 두루 쥬
發 オコル ハツ 필 발

殷 サカンナル イン 만흘 은
湯 ユ トウ 끌흘 탕
坐 イル ザ 안줄 좌
朝 アシタ チヨウ 아ᄎᆞᆷ 조
問 トフ モン 무를 문
道 ミチ ドウ 길 도

垂 タレル スイ 드리울 슈
拱 コマヌク キヨウ ᄁᆞᆷ줄 공
平 タヒラカ ヘイ 평흘 평
章 アキラカ シヨウ 글월 장
愛 イツクシム アイ ᄉᆞ랑 ᄋᆡ
育 ヤシナフ イク 기를 육

黎（モロ〳〵 レイ） 감을 려
遐（トウシ カ） 멀 하
歸（カヘル キ） 도라갈 귀
白（シロシ ハク） 흰 빅
草（クサ ソウ） 풀 초
蓋（ケダシ カイ） 덥흘 기
五（イツヽ ゴ） ᄃᆞᄉᆞ 오

首（カシラ シユ） 머리 슈
邇（チカシ ジ） 갓가올 이
王（キミ ワウ） 님군 왕
駒（コマ ク） 미야지 구
木（キ モク） 나무 목
此（コレ シ） 이 ᄎᆞ
常（ツネ ジヨウ） ᄯᅧᆺᄯᅧᆺ 상

臣（ヤツコ シン） 신하 신
壹（ヒトツ イチ） ᄒᆞᆫ 일
鳴（ナク メイ） 울 명
食（ハム シヨク） 밥 식
賴（タノム ライ） 힘닙을 뢰
身（ミ シン） 몸 신
恭（ウヤマウ キヨウ） 공슌 공

伏（フス フク） 업드릴 복
體（カタチ タイ） 몸 톄
鳳（オヽトリ ホウ） ᄉᆡ 봉
場（ニハ ゼウ） 마당 장
及（オヨブ キフ） 미츨 급
髮（カミ ハツ） 털억 발
惟（オモウ イ） 오직 유

戎（エビス ジユウ） 되 융
率（ヒキイル ソツ） 거ᄂᆞ릴 솔
在（アリ ザイ） 이슬 ᄌᆡ
化（メグム クワ） 될 화
萬（ヨロヅ バン） 일만 만
四（ヨツ シ） 넉 ᄉᆞ
鞠（ヤシナフ キク） 칠 국

羌（エビス キヨウ） 되 강
賓（マレビト ヒン） 손 빈
樹（ウエキ ジユ） 나무 슈
被（コウムル ヒ） 닙을 피
方（カタ ホウ） 모 방
（オヽイナリ ダイ） 큰 대
養（ヤシナウ ヤウ） 기를 양

豈 アニ キ 엇지 긔
敢 アヘテ カン 구틔 감
毀 ソコノウ キ 헐 훼
傷 ヤブル セウ 상홀 상
女 オンナ ジョ 계집 녀
慕 シタフ ボ 亽모 모

貞 サダ タダシ テイ 고들 정
烈 ツラナル レツ 미올 렬
男 オトコ ダン 사나의 남
效 ナラフ コウ 본밧을 효
才 シワザ サイ 지죠 지
良 ヨシ リヨウ 어질 량

知 シル チ 알 지
過 アヤマチ クワ 허물 과
必 カナラズ ヒツ 반듯 필
改 アラタム カイ 고칠 기
得 ウル トク 엇을 득
能 ヨク ノウ 능홀 능

莫 ナカレ バク 말 막
忘 ワスレ バウ 니즐 망
罔 ナシ バウ 업슬 망
談 カタル ダン 말슴 담
彼 カレ ヒ 저 피
短 ミジカシ タ 저를 단

靡 ナシ ヒ 아닐 미
恃 タノム シ 밋을 시
己 オノレ キ 몸 긔
長 ナガシ チヤウ 긴 쟝
信 マコト シン 밋을 신
使 ツカヒ シ 흐여금 亽

可 ベシ カ 올흘 가
覆 カエル フク 라칠 복
器 ウツハモノ キ 그릇 긔
欲 ホツスル ヨク 흐고저홀 욕
難 カタシ ナン 어려울 난
量 ハカル リヤウ 혜아릴 량

墨 スミ ボク 먹 묵
悲 カナシム ヒ 슬플 비
絲 イト シ 실 亽
染 ソムル セン 물들 염
詩 カラウタ シ 글 시
讚 ホム サン 기릴 찬

羔 ヒツジ コウ 염소 고
羊 ヒツジ ヤウ 양 양
景 カゲ ケイ 볏 경
行 オコナウ コウ 단길 힝
維 コレ イ 얼글 유
賢 カシコシ ケン 어질 현

剋 ヨク コク 니길 극
念 オモウ ネン 싱각 념
作 ツクル サク 지을 작
聖 ヒジリ セイ 셩인 셩
德 サイワイ トク 큰 덕
建 タツル ケン 세울 건

名 ナ メイ 일홈 명
立 タツ リツ 설 립
形 カタチ ケイ 얼굴 형
端 ハシ タン 끗 단
表 オモテ ヒヨウ 것 표
正 タヾス セイ 바를 정

空 ムナシ クウ 뷜 공
谷 タニ コク 고올 곡
傳 ツタフ デン 젼홀 젼
聲 コエ セイ 소리 셩
虛 ムナシ キヨ 뷜 허
堂 ニハヌイエ ドウ 집 당

習 ナラウ シウ 익힐 습
聽 キク テイ 들을 청
禍 ワザハイ クワ 지앙 화
因 ヨル イン 인홀 인
惡 アシヽ アク 모질 악
積 ツム セキ 밧홀 적

福 サイワイ フク 복 복
緣 ヨル エン 인연 연
善 ヨシ ゼン 착홀 션
慶 ヨロコブ ケイ 경ᄉᆞ 경
尺 ハカリ セキ 자 쳑
璧 タマ ヘキ 구슬 벽

非 アラズ ヒ 아닐 비
寶 タカラ ホウ 보비 보
寸 ミジカシ スン 마듸 촌
陰 カゲ イン 그늘 음
是 コレ ゼ 이 시
競 キソウ キヨウ 다톨 경

資 トル シ ᄌᆞ뢰 ᄌᆞ
父 チヽ フ 아비 부
事 ツカサ ジ 셤길 ᄉᆞ
君 キミ クン 남군 군
曰 イワク アツ ᄀᆞ로 왈
嚴 オゴソカ ゲン 엄ᄒᆞᆯ 엄

與 アタウ ヨ 너블 여
敬 ウヤマウ ケイ 공경 경
孝 ヤシナウ カウ 효도 효
當 アタル トウ 맛당 당
竭 ツクス ケツ 다ᄒᆞᆯ 갈
力 チカラ リヨク 힘 녁

忠 タヽシ チウ 츙셩 츙
則 スナハチ ソク 법측 측
盡 ツクス ジン 다ᄒᆞᆯ 딘
命 イノチ メイ 목숨 명
臨 ノゾム リン 님ᄒᆞᆯ 림
深 フカシ シン 깁ᄒᆞᆯ 심

履 フム リ 발불 리
薄 ウスシ ハク 열울 박
夙 ツト シユク 니를 숙
興 オコル コウ 일 흥
溫 アタヽカ オン ᄃᆞ슬 온
清 スヾシ セイ 서늘 졍

似 ニル ジ 갓ᄒᆞᆯ ᄉᆞ
蘭 アラヽキ ラン 난초 난
斯 コレ シ 이 ᄉᆞ
馨 カウバシ ケイ 향긔 향
如 ゴトク ジヨ 갓ᄒᆞᆯ 여
松 マツ シヤウ 솔 송

之 コレ シ 갈 지
盛 サカンナル セイ 셩ᄒᆞᆯ 셩
川 カワ セン ᄂᆡ 천
流 ナガル リユウ 흐를 류
不 アラズ フ 아닐 불
息 ヤム ソク 쉴 식

淵 フチ エン 못 연
澄 スム トウ 말글 징
取 トル シユ 가질 취
映 ヒカリ エイ 비칠 영
容 カタチ ヨウ 얼굴 용
止 ヤム シ 긋칠 지

若 モシ ジャク ᄀᆞᆺ흘 약
思 オモフ シ ᄉᆡᆼ각 ᄉᆞ
言 コトバ ゲン 말ᄉᆞᆷ 언
辭 コトバ ジ 말ᄉᆞᆷ ᄉᆞ
安 ヤスシ アン 평안 안
定 サダム テイ 정ᄒᆞᆯ 정

篤 アツシ トク 도타올 독
初 ハジメ シヨ 처음 초
誠 マコト セイ 정성 셩
美 ウツクシ ビ 아름다올 미
愼 ツツシム シン ᄉᆞᆷ갈 신
終 オハリ シユウ 마ᄎᆞᆷ 죵

宜 ヨロシ ギ 맛당 의
令 ヨシ レイ ᄒᆞ야금 령
榮 サカエル エイ 영화 영
業 シワザ ゲウ 업 업
所 トコロ シヨ 바 쇼
基 モトヒ キ 터 긔

籍 ヨル セキ 호적 적
甚 ハナハダ ジン 심ᄒᆞᆯ 심
無 ナシ ム 업슬 무
竟 オハル ケウ 마ᄎᆞᆷ 경
學 マナブ ガク ᄇᆡ올 ᄒᆞᆨ
優 ユタカ ユウ 넉넉 우

登 ノボル トウ 올을 등
仕 ツトム シ 벼슬 ᄉᆞ
攝 オサム セツ 잡을 셥
職 ツカサ シヨク 벼슬 직
從 シタゴウ ジウ 좃출 죵
政 マツリゴト セイ 졍ᄉᆞ 졍

存 ナガラウ ソン 이슬 존
以 モッテ イ 써 이
甘 アマシ カン 달 감
棠 ナシ タウ 아가위 당
去 サル キヨ 갈 거
而 シカモ シ 말이 이

益 マス エキ 더ᄒᆞᆯ 익
詠 ウトフ エイ 을플 영
樂 タノシム ラク又ガク 풍류 악
殊 コトニ シユ 다를 슈
貴 タフトシ キ 귀ᄒᆞᆯ 귀
賤 イヤシ セン 쳔ᄒᆞᆯ 쳔

禮 ウヤマウ レイ 녜도 녜
別 ワカツ ベツ 다를 별
尊 タツトシ ソン 놉ᄒᆞᆯ 존
卑 イヤシ ヒ 나즐 비
上 カミ ジヤウ 웃 상
和 ヤハラグ クワ 화ᄒᆞᆯ 화

下 シモ ゲ 아ᄅᆡ 하
睦 ムツマシ ボク 화목 목
夫 オツト フ 지아비 부
唱 イザナウ シヤウ 부를 챵
婦 ヨメ フ 며ᄂᆞ리 부
隨 シタガフ ズイ ᄯᆞ를 슈

外 ホカ グワイ 밧 외
受 ウク ジユ 밧을 슈
傅 カシヅク フ 스승 부
訓 オシユル クン 가ᄅᆞ칠 훈
入 イル ニウ 들 입
奉 タテマツル ホウ 밧들 봉

母 ハハ ボ 어미 모
儀 ノリ ギ 거동 의
諸 モロモロ シヨ 모들 제
姑 オバ コ 할미 고
伯 オヂ ハク 맛 빅
叔 オヂ シク 아ᄌᆞ비 슉

猶 ナホ ユウ ᄀᆞᆺᄒᆞᆯ 유
子 コ シ 아들 ᄌᆞ
比 ナラブ ヒ 견ᄌᆞᆯ 비
兒 チゴ ジ 아희 ᄋᆞ
孔 ハナハダ コウ 구멍 공
懷 オモフ クワイ 품을 회

兄 アニ ケイ 맛 형
弟 オトト テイ 아우 뎨
同 オナジク ドウ ᄒᆞᆫ가지 동
氣 イキ キ 긔운 긔
連 ツラナル レン 련ᄒᆞᆯ 련
枝 エダ シ 가지 지

交 マジハル カウ 사귈 교
友 トモ ユウ 벗 우
投 イタス ナゲウツ トウ 더질 투
分 ワカツ ブン 난ᄒᆞᆯ 분
切 キル セツ 간절 절
磨 ミガク マ 갈 마

箴 イマシム シン 경계 잠
規 タヾス キ 법 규
仁 イツクシム ジン 어질 인
慈 イツクシム ジ ᄉᆞ랑 ᄌᆞ
隱 イタム イン 숨을 은
惻 イタム ソク 슬플 측

造 ツクル ヌ ナス ゾウ 지을 조
次 ツギ ジ 버금 ᄎᆞ
弗 アラズ フツ 아닐 불
離 ハナル リ 써날 리
節 フシ セツ 마듸 절
義 ヨシ ギ 올흘 의

廉 イサギヨシ レン 청념 념
退 シリゾク タイ 물너갈 퇴
顚 タヲル テン 업더질 전
沛 ツマヅク ハイ 잣바질 픠
匪 アラズ ヒ 아닐 비
虧 カグ キ 이즐어질 휴

性 コヽロ セイ 성품 성
靜 シヅカナル セイ 고요 정
情 コヽロ ゼウ 뜻 정
逸 ヤスシ ヌ ハシ ヤ イツ 평안홀 일
心 コヽロ シン 마음 심
動 ウゴク ドウ 움즉일 동

神 カミ ヌ タマシイ シン 귀신 신
疲 ツカル ヒ 곳불 피
守 マモル シユ 직힐 슈
眞 マコト シン 참 진
志 コヽロザシ シ 뜻 디
滿 ミツ マン 가득홀 만

逐 オウ チク 쫏출 튝
物 モノ ブツ 만물 물
意 コヽロ イ 뜻 의
移 ウツル イ 옴길 이
堅 カタシ ケン 굿을 견
持 タモツ ヂ 가질 지

雅 タヾシ ガ 몱을 아
操 ミサホ ソウ 잡을 조
好 ヨシ ヌ コノム コウ 됴홀 호
爵 ツカサ シヤク 벼슬 작
自 ミヅカラ ジ 스스리 자
縻 マトフ ヒ 얽글 미

漢字	訓	音	조선어
都	ミヤコ	ト	도읍 도
二	フタツ	ジ	두 이
浮	ウカム	フ	뜰 부
盤	メグル	バン	서릴 반
圖	ハカル	ト	그림 도
仙	ソマシヤトマヒ	セン	신선 선
甲	キノエ	カウ	갑옷 갑
邑	サト	イウ	고을 읍
京	ミヤコ	ケイ	서울 경
渭	スメルミズ	イ	위슈 위
鬱	オオウ	ウツ	답답 울
寫	ウツス	シヤ	쓸 ᄉᆞ
靈	タマシイ	レイ	신령 령
帳	トバリ	チヨウ	장 장
華	ハナ	クワ	빗날 화
背	セナカ	ハイ	등 배
據	ヨル	キヨ	웅거할 거
樓	タカドノ	ロウ	다락 누
禽	トリ	キン	새 금
丙	ヒノヘ	ヘイ	남녁 병
對	ムカウ	タイ	대답 대
夏	ナツ	カ	여름 하
邙	ヤマ	バク	뫼 망
涇	ニゴルミヅ	ケイ	경수 경
觀	ミル	クワン	볼 관
獸	ケダモノ	ジウ	즘성 수
舍	イヘ	シヤ	집 샤
楹	ハシラ	エイ	기동 영
東	ヒガシ	トウ	동녁 동
面	オモテ	メン	낫 면
宮	ミヤ	キウ	집 궁
飛	トブ	ヒ	놀 비
畫	エガク	グワ	그림 화
傍	カタハラ	ボウ	겻 방
肆	ムシロ	シ	베플 ᄉᆞ
西	ニシ	セイ	셔녁 서
洛	ミヤコ	ラク	낙수 낙
殿	トノ	デン	집 전
驚	オドロク	ギウ	놀날 경
綵	イロドル	サイ	치식 치
啓	ヒラク	ケイ	열 계
筵	ムシロ	エン	자리 연

字	訓	音	뜻	음
設	マウク	セツ	베플	설
席	ムシロ	セキ	돗	석
鼓	ツヾミ	コ	북	고
瑟	コト	シツ	빗파	슬
吹	フク	スイ	불	취
笙	フエ	シヤウ	뎌,	성
陞	ノボル	セウ	올을	승
階	ハシ	カイ	섬	계
納	オサム	ドウ	드릴	납
陛	キザハシ	カイ	섬	폐
弁	カンムリ	ベン	곳갈	변
轉	メグル	テン	구을	뎐
疑	ウタガウ	ギ	의심	의
星	ホシ	セイ	별	셩
右	ミギ	ユウ	올올	우
通	トホル	ツウ	통할	통
廣	ヒロシ	コウ	넓을	광
內	ウチ	ナイ	안	닉
左	ヒダリ	サ	왼	좌
達	イタル	タツ	스뭇출	달
承	ウク	セウ	니을	승
明	アキラカ	メイ	밝을	명
既	スデニ	キ	이믜	긔
集	アツム	シウ	모들	집
墳	フルツカ ヌ ツカ	フン	무덤	분
典	フミ	テン	법	뎐
亦	マタ	エキ	또	역
聚	アツム	シウ	모돌	취
群	ムラガル	グン	무리	군
英	カシコシ ヌハ ハナビラ	エイ	꽃부리	영
杜	トヅル	ト	막을	두
藁	ワラ	コウ	집	고
鍾	アツマル	シヨウ	쇠북	종
隸	アラハス	レイ	글시	례
漆	ウルシ	シツ	옷	칠
書	カク	シヨ	글	셔
壁	カベ	ヘキ	ㅂ람	벽
經	フル	ケイ	경셔	경
府	クラ	フ	마을	부
羅	ツラナル ヌ スモウ	ラ	벌	라
將	マサニ	シヤウ	쟝슈	쟝
相	タスク	シヨウ	서로	샹

路 ミチ ロ 길 로
俠 セハシ キヨウ 협긔 협
槐 エンジユ クワイ 괴화 과
卿 キミ ケイ 벼슬 경
戶 ト コ 지개 호
封 ヲサムル ホウ 봉홀 봉

八 ヤアツ ハチ 여덟 팔
縣 アガタ ケン 고을 현
家 イエ カ 집 가
給 タマウ キウ 넉넉홀 급
千 チ セン 일천 천
兵 ツハモノ ヘイ 군ᄉ 병

高 タカシ コウ 놉흘 고
冠 カムリ クワン 갓 관
陪 ハンベル バイ 뫼실 빅
輦 テクルマ レン 년 년
驅 カル ク 몰 구
轂 クルマ コク 슈레통 곡

振 フルウ シン 썰칠 딘
纓 クミオ エイ 갓쓴 영
世 ヨ セイ 인간 세
祿 タマモノ ロク 복녹 녹
侈 オゴル シ ᄉ치 치
富 トミ フ 가음열 부

車 クルマ シヤ 수레 거
駕 ノリモノ ガ 멍에 가
肥 コユル ヒ 술쎌 비
輕 カロシ ケイ 가비여올 경
策 フダ サク 막딕 칙
功 イサヲシ コウ 공 공

茂 シゲル モ 것칠 무
實 ミノル ジツ 열미 실
勒 シルス ロク 구레 늑
碑 イシブミ ヒ 비석 비
刻 キザム コク 속일 각
銘 カナブミ メイ 속일 명

磻 ヤサキ ハン 돌 반
溪 タニ ケイ 시닉 계
伊 コレ イ 져 이
尹 ツカサ イン 못 윤
佐 タスク サ 도을 좌
時 トキ ジ 쎄 시

阿 オモネル ア 언덕 아
衡 タイラカ コウ 저울대 형
奄 タモツ エン 문득 엄
宅 イヱ タク 집 틱
曲 マガル キヨク 굽을 곡
阜 オカ フ 언덕 부

微 ナシ ビ 저글 미
旦 アシタ タン 니를 조
孰 タレカ ジユク 누구 숙
營 イトナム エイ 경영 영
桓 タチモトオル クワン 굿셀 환
公 キミ コウ 귀위 공

匡 タヽス キヨウ 바를 광
合 アハス ガウ 모들 합
濟 スクフ サイ 건널 졔
弱 ヨハシ ジヤク 약ᄒᆞᆯ 약
扶 タスク フ 븟들 부
傾 カタムク ケイ 기울 경

綺 ウスモノ キ 깁 긔
回 カヘル クワイ 도라올 회
漢 アマノガワ カン 한슈 한
惠 メグム セツ 은혜 혜
說 ヨロコブ セツ 깃블 열
感 オモウ カン ᄂᆞᆨ길 감

武 アトヽ又ブ ブ又クワン 호반 무
丁 ヒノト テイ 장정 뎡
俊 カシコイ シユン 쥰걸 쥰
乂 ヲサマル カイ 미올 예
密 ヒソカ ミツ 셱셱ᄒᆞᆯ 밀
勿 ナカレ コツ 말 물

多 オホシ タ 만흘 다
士 サムライ シ 선비 ᄉᆞ
寔 マコト シヨク 이 식
寧 ヤスシ ネイ 편안 녕
晉 スヽム シン 딘국 딘
楚 イタム ソ 초국 초

更 カワル カウ ᄃᆞ시 깅
霸 トル ハ 읏듬 패
趙 ハシル テウ 죠국 죠
魏 クニノナ ギ 위국 위
困 クルシム コン 곤ᄒᆞᆯ 곤
橫 ヨコ クワウ 빗길 횡

假 カル カ 빌 가
途 ミチ ト 길 도
滅 ホロブ メツ 멸홀 멸
虢 クニノナ クワク 괵국 괵
踐 フム セン 발블 쳔
土 ツチ ト 흙 토

會 アフ クワイ 모들 회
盟 チコウ メイ 밍세 밍
何 ナンツ カ 엇지 하
遵 シタガウ ジユン 좃출 슌
約 ツヾマヤカ ヤク 언약 약
法 ノリ ホウ 법 법

韓 カラ カン 한국 한
弊 サンズ ヘイ 허여질 폐
煩 ワヅラウ ハン 번거홀 번
刑 ツミ ケイ 형법 형
起 オコル キ 일 긔
翦 キル セン 간길 젼

頗 スコブル ハ 자못 파
牧 ヤシナフ ボク 칠 목
用 モチユル ヨウ 쓸 용
軍 イクサ グン 군ᄉᆞ 군
最 モツトモ サイ 가장 최
精 キレイ セイ 정홀 정

宣 ノブ セン 베플 션
威 イキオイ イ 위엄 위
沙 イサゴ サ 모릐 ᄉᆞ
漠 クラシ又シヅカナル バク 아득홀 막
馳 ハシル チ 달닐 치
譽 ホマレ ヨ 기릴 예

丹 アカシ タン 붉글 단
靑 アオシ セイ 푸를 청
九 コヽノツ キウ 아홉 구
州 クニ シユウ 고을 쥬
禹 ノフル又キミ ウ 님금 우
跡 アト セキ ᄌᆞ최 젹

百 モヽ ヒヤク 일빅 빅
郡 コオリ クン 고을 군
秦 クニノナ シン 진국 진
幷 アハス ヘイ 아올 병
嶽 オカ又タケ ガク 뫼부리 악
宗 ムネ ソウ 마루 종

恒 ツネ コウ 항상 항
岱 ヤマ タイ ヌユタカナル 뫼 대
禪 ユヅル ゼン 터닷글 션
主 アルジ シユウ ヌツカサ 님금 쥬
云 イフ ウン 이를 운
亭 ウテナ テイ 정ᄌ 경

鴈 カリ ガン 기러기 안
門 カド モン 문 문
紫 ムラサキ シ 불글 ᄌ
塞 フサグ サイ 변방 시
雞 ニワトリ ケイ ᄃᆞᆰ 계
田 タ デン 밧 전

赤 アカシ セキ 불글 적
城 シロ ジヨウ 재 셩
昆 コノカミ コン ᄆᆞᆺ 곤
池 イケ チ 못 지
碣 タテイシ ケツ 돌 갈
石 イシ セキ 돌 석

鉅 オホイナリ キヨ 클 거
野 ノ ヤ 들 야
洞 ホラ ドウ 고을 동
庭 ニハ テイ ᄯᅳᆯ 정
曠 ムナシ クワウ ᄯᅳᆯ 광
遠 トオシ エン 멀 원

綿 ワタ メン 소음 면
邈 ハルカ バウ 멀 막
イハオ ガン 바회 암
岫 クキ シウ 묏부리 악
杳 ハルカ ヨウ 아득홀 묘
冥 ホノカ メイ 아득홀 명

治 オサマル ヂ ᄃᆞ스릴 치
本 モト ホン 밋 본
於 オイテ オ 늘 어
農 シハザ ノオ 농ᄉ 농
務 ツトム ム 힘쓸 무
茲 コレ シ 이 ᄌ

稼 モノウクル カ 시믈 가
穡 モノツクル シヨク 거둘 석
俶 ハシメ シウ 비로슬 슉
載 ノスル サイ 시를 지
南 ミナミ ナン 남녁 남
畝 ウネ ホ 이랑 묘

我 ワレ ガ 나 아
藝 ワザ ゲイ 심을 예
黍 キビ ショ 기장 셔
稷 ヒエ ショク 피 직
稅 オサムル 又 ミツギ ゼイ 구실 세
熟 ウム ジユク 니글 슉

貢 ミツギ 又 タテマツル コウ 바칠 공
新 アラタナル シン 새 신
勸 ススム クワン 권할 권
賞 タマモノ シヨウ 상줄 상
黜 シリゾク チユツ 닉칠 출
陟 ノボル チヨク 오를 텩

孟 ハジメ モウ 맛 맹
軻 クルマ カ 슈레 가
敦 アツシ トン 도타올 돈
素 スナホ ソ 흴 소
史 フミ 又 キシレ シ ᄉᆞ긔 ᄉᆞ
魚 ウオ ギヨ 고기 어

秉 トル ヘイ 잡을 병
直 タダシ チヨク 곳을 직
庶 モロモロ シヨ 거의 셔
幾 イクバク キ 거의 긔
中 ナカ チウ 가온듸 듕
庸 ツネ ヤウ 떳떳 용

勞 イタハル ラウ 슈고 노
謙 ヘリクダル ケン 겸손 겸
謹 ツツシム キン 삼갈 근
勅 ミコトノリ キヨク 틱셔 틱
聆 キク レイ 들을 령
音 コヘ 又 ネ イン 소릭 음

察 ミル サツ 슬필 찰
理 コトハリ リ 다ᄉᆞ릴 리
鑑 カンガミル カン 거울 감
貌 カタチ バウ 모양 모
辨 ワキマウ ベン 분변 변
色 イロ シヨク 빗 식

貽 ノコス イ 씌칠 이
厥 ソノ ケツ 그 궐
嘉 ヨキ カ 아름다올 가
猷 ハカリコト 又 ナ ユウ 꾀 유
勉 ツトム ベン 힘쓸 면
其 ソノ キ 그 기

祇 ツツシム ギ 공경 지　植 ウエル シク 심을 식　省 カヘリミル ハブク セイ 솔필 성　躬 キウ 몸 궁　譏 ソシル キ 긔롱 긔　誡 イマシム カイ 경계 계

寵 アハレム テウ 고일 총　增 マス ゾウ 더홀 증　抗 フセグ カウ 결올 항　極 キハマル キョク 극진 극　殆 ホトンド タイ 거위 틱　辱 ハヅカシム ジョク 욕홀 욕

近 チカシ キン 갓가울 근　恥 ハヂ テ 붓그러울 치　林 ハヤシ リン 수풀 림　皐 オカ コウ 언덕 고　幸 ミユキ サイハヒ カウ 다힝 힝　卽 スナハチ ソク 곳 즉

兩 フタツ リャウ 두 냥　疏 ウトシ ソ 석길 소　見 ミル ケン 볼 견　機 ハタ キ 틀 긔　解 トク カイ 풀 히　組 クミヲ ソ 인신 조

誰 タレ スイ 누구 슈　逼 セマル ヒツ 갓가울 핍　索 ナワ サク 추줄 석　居 オル キョ 술 거　閑 アイダ カン 흔가 한　處 トコロ ショ 곳 처

沈 シヅム チン 잠길 침　默 モダス モク 잠잠 묵　寂 シヅカ セキ 고요 적　寥 シヅカ リョウ 고요 료　求 モトム キウ 구홀 구　古 イニシヘ コ 녜 고

尋 タヅヌ ジン 추줄 심　論 アゲツラフ ロン 의논 논　散 チル サン 흣흘 산　慮 オモンパカル リョ 싱각 녀　逍 ユク ソブ シャウ 노닐 소　遙 ハルカ ノタシ ヨウ 노닐 요

欣 ヨロコブ キン 깃불 흔
奏 スヽム ソウ 아릐올 듀
累 ツヾラ ルイ 여럿 누
遣 ツカワス ケン 보낼 견
慼 カナシム セキ 슬플 쳑
謝 サル シヤ 샤례 샤

歡 ヨロコブ クワン 깃불 환
招 マネク セウ 부를 쵸
渠 ミゾ キヨ 기쳔 거
荷 ハス カ 년 하
的 マト テキ 관혁 뎍
歷 フル レキ 디날 력

園 ソノ エン 동산 원
莽 クサムラ モウ 풀 망
抽 ヌキンズ チウ 쌔힐 츄
條 エダ チウ 가지 조
枇 ツノミ ビ 나무 비
杷 クダモノ ハ 나무 파

晚 ヤツシ バン 느즐 만
翠 ミドリ スイ 푸를 취
梧 キリ ゴ 머귀 오
桐 キリ ドウ 머귀 동
早 ハヤシ サウ 이를 죠
彫 シボム チウ 마를 죠

陳 フルシ チン 묵을 진
根 ネ コン 뿔희 근
委 シボム イ 보릴 위
翳 シボム エイ 가리울 예
落 オツル ラク 써러질 락
葉 ハ ヨウ 닙 엽

飄 ヒルガヘル ヒヨウ 나붓길 표
颻 ヒルガヘル ヨウ 나붓길 요
遊 アソブ ユウ 놀 유
鯤 ウヲ コン 고기 곤
獨 ヒトリ ドク 홀노 독
運 メグル ウン 운뎐 운

凌 シノグ レウ 업수이녁일 릉
摩 ナヅル マ 만질 마
絳 アカシ カウ 붉글 강
霄 オホゾラ セウ 하늘 쇼
耽 フケル チウ 즐길 탐
讀 ヨム ドク 닐글 독

翫 モテアツブ クワン 구경 완
易 ヤスシ イ 밧골 역
垣 カキ ヱン 담 원
適 カナフ テキ 마즘 적
烹 ニル ハウ 솔물 핑
親 オヤ シン 친훌 친
異 コトナル イ 다를 이

市 イチ シ 져지 시
輶 ツヽシム ユウ 가뷔여을 유
牆 カキ シヤウ 담 장
口 クチ コウ 입 구
宰 ツカサドル サイ 지샹 지
戚 ヤカラ セキ 겨레 척
糧 カテ リヤウ 냥식 냥

寓 ヨス グウ 부칠 우
攸 トコロ ユウ 바 유
具 ソナフ グ 가촐 구
充 ミツ ジウ 메일 충
飢 ウエル キ 쥬릴 긔
故 イニシヘ 又 ユルエガカ コ 연고 고
妾 メカケ セウ 첩 첩

目 メ モク 눈 목
畏 オソル イ 두려울 외
膳 ソノウ ゼン 반찬 선
腸 ハラワタ チヤウ 창ᄌᆞ 장
厭 イトフ エン 실흘 염
舊 フルシ キウ 네 구
御 オサム ギヨ 뫼실 어

囊 フクロ ナウ 쥬머니 낭
屬 ツタ シヨク 부칠 속
飡 クラウ サン 밤 손
飽 アク ハウ 비부를 포
糟 カス サウ 지강이 조
老 オイ ロウ 늘을 로
績 ツム セキ 질삼 적

箱 ハコ シヤウ 상ᄌᆞ 상
耳 ミヽ ジ 귀 이
飯 イヽ 又 メシ ハン 밥 반
飫 ノコス 又 アク ヨウ 슬흘 에
糠 ヌカ コウ 겨 강
少 ワカシ セウ 절물 쇼
紡 ツムク ホウ 질삼 방

侍 ハル シ 뫼실 시
巾 テノゲヒ又カサル キン 수건 건
帷 カタビラ イ 장 유
房 イヘ ボウ 방 방
紈 カトリ クワン 깁 환
扇 アフギ セン 부채 선

圓 マロシ エン 둥글 원
潔 イサギヨク ケツ 조흘 결
銀 クロカネ ギン 은 은
燭 トモシビ シヨク 초불 촉
煒 テル イ 불빗 위
煌 カヾヤク クワウ 불빗 황

晝 ヒル チウ 낫 듀
眠 ネムル ミン 죠을 면
夕 ユウベ セキ 저녁 셕
寐 イネル ビ 잘 미
藍 アイ ラン 쪽 남
筍 タカンナ ジユン 죽순 슌

象 カタチ シヨウ 코키리 샹
牀 トカ シヨウ 상 상
弦 コトヒク又ツル ゲン 줄 현
歌 ウタ カ 노릐 가
酒 サケ シユ 술 쥬
讌 サカモリ エン 잔취 연

接 マジユ セツ 부칠 졉
杯 サカヅキ ハイ 잔 비
舉 アグ キヨ 들 거
觴 サカヅキ シヤウ 잔 샹
矯 タムル ケウ 수밀 교
手 テ シユ 손 수

頓 ツマヅク又バタ トン 두두릴 돈
足 アシ ソク 발 족
悅 ヨロコブ エツ 깃불 열
豫 アラカジメ ヨ 미리 예
且 アシタ タン 또 챠
康 ヤスシ カウ 평안 강

嫡 アニ チキ 맛 젹
後 ノチ ゴ 뒤 후
嗣 ツグ シ 니을 ᄉᆞ
續 ツヾク ゾク 니을 속
祭 マツル サイ 뎨사 뎨
祀 マツル シ 뎨ᄉᆞ ᄉᆞ

蒸 ムス ジョウ 찔 증
嘗 ナムル シヤウ 맛볼 샹
稽 ツヽシム ケイ 조을 계
顙 ツヽシム 又ヒタヒ サウ 이마 상
再 フタヽビ サウ 두 지
拜 オガム ハイ 절 빅

悚 オソル シヤウ 두려울 송
懼 オソル ク 두려울 구
恐 オソル キヨウ 두려울 공
惶 オソル コウ 두려울 황
牋 フダ セン 죠희 젼
牒 フダ テウ 셔쳡 쳡

簡 エラブ 又フダ カン 딕쪽 간
要 カナメ ヨウ 종요 요
顧 カヘリミル コ 도라볼 고
答 コタウ トウ 딕답 답
審 ツマビラカ シン 술필 심
詳 ツマビラカ シヨウ ᄌᆞ셔 상

骸 カラダ カイ 새뼈 히
垢 アカ 又コウ ク 띡 구
想 オモウ サウ 싱각 샹
浴 ユアミ ヨク 목욕 욕
執 トル シツ 잡을 집
熱 アツシ ネツ 더울 열

願 ネガウ グワン 원할 원
涼 スヾシ リヨウ 서늘 량
驢 カサギムマ ロ 나귀 녀
騾 ムマ ラ 노시 나
犢 コウシ トク 쇠야지 독
特 コトニ トク 소 특

駭 オドロク ガイ 놀날 히
躍 オドル ヤク 뛸 약
超 コユル チヨウ 뛸 쵸
驤 アガル ジヨウ 돌릴 향
誅 コロス チウ 버힐 쥬
斬 キル サン 버힐 참

賊 ヌスビト ゾク 도적 적
盜 ヌスビト トウ 도적 도
捕 トラウ ホ 잡을 포
獲 クラウ クワク 어들 획
叛 ソムク ハン 반할 반
亡 ニグル ボウ 도망 망

布 シク フ 뵈 포
射 ユミイル シヤ 쏠 샤
遼 ハルカ リヨウ 멀 료
丸 マルシ グワン 탄ㅈ 환
嵇 ヤマ ケイ 뫼 혜
琴 コト ケン 거문고 금

阮 ムナシ ゲン 셩 완
嘯 ウソブク シヨウ 수파람 소
恬 ヤスシ テン 편안 념
筆 フデ ヒツ 붓 필
倫 トモガラ リン 인륜 륜
紙 カミ シ 조희 디

鈞 ツリバリ キン 무거올 균
巧 タクミ カウ 공교 교
任 マカス ジン 맛질 임
釣 ツリバリ テウ 낙시 죠
釋 トク セキ 노흘 셕
紛 マギラハシ フン 어즈러울 분

利 トシ リ 니흘 리
俗 ナラヒ ゾク 풍속 속
竝 ナラブ ヘイ 아올 병
皆 ミナ カイ 다 기
佳 ヨシ カ 아름다올 가
妙 タヘナリ ミヤウ 묘홀 묘

毛 ケ モウ 터럭 모
施 ホドコス シ 베풀 시
淑 ヨシ シク 말글 슉
姿 スガタ シ 자뢰 자
工 タクミ コウ 밧치 공
顰 ソムク又ニクム ヒン 찡길 빈

妍 カオヨシ ケン 고올 연
笑 ワラウ セウ 우슴 쇼
年 トシ ネン 히 년
矢 ヤ シ 술 시
每 コトゴト又ツネ マイ 미양 미
催 モヨウス サイ 지촉 최

羲 ノビカリ又アキラカ ギ 발글 희
暉 ツキノヒカリ コン 날빗 휘
朗 ホガラカ ラウ 발글 랑
曜 カヾヤク ヤウ 빗쵤 요
璇 タマ セン 구슬 션
璣 タマ キ 구슬 긔

懸 カク又ハカルナル ケン 달 현
指 ユビ シ ᄀᆞᄅᆞ칠 지
吉 ヨシ キツ 길ᄒᆞᆯ 길
俯 フス フ 업드릴 부
矜 オゴソカ キヤウ 자랑 긍
孤 ミナシゴ コ 외로올 고
等 シナ トウ 무리 등

斡 メグル アツ 돌 알
薪 タキヾ シン 섭 신
邵 ウルワシ セウ 놉ᄒᆞᆯ 쇼
仰 アオグ ギヤウ 울얼 앙
莊 カザル サウ 식식 장
陋 イヤシ ロウ 더러울 루
誚 ソシル セウ ᄭᅮ지즐 쵸

晦 ツモグリ クワイ 그믐 회
脩 オサムル シユウ 닥글 수
矩 ノリ ク 법 구
廊 ヤシロ ロウ 힝낭 낭
徘 タチモドル ハイ 머물 비
寡 スクナシ クワ 져글 과
謂 イウ イ 니를 위

魄 タマシヒ ハク 넉 빅
祐 サイワイ ユウ 도을 우
步 アユム ホ 거름 보
廟 ヤシロ ビヨウ ᄉᆞ당 묘
徊 タチモドル クワイ 머물 회
聞 キク ブン 드를 문
語 カタル ゴ 말ᄉᆞᆷ 어

環 メグル クワン 고릐 환
永 ナガシ エイ 길 영
引 ヒク イン 당길 인
束 ツカヌル ソク 묵글 속
瞻 ミル セン 볼 쳠
愚 オロカ グ 어릴 우
助 タスク ジヨ 도을 됴

照 テラス シヤウ 비쵤 죠
綏 ヤスシ ヌイ 편안 유
領 カサドル レイ 옷깃 녕
帶 オビ タイ ᄯᅴ 대
眺 ノゾム チヨウ 볼 조
蒙 オロカ モウ 무릅쓸 몽
者 モノ シヤ 놈 자

焉 コレ エン
잇기 언

哉 カナ サイ
잇기 재

乎 カ コ
온 호

也 ナリ ヤ
잇기 야

日鮮
訓點 千字文終

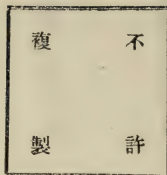
大正十年五月二十日印刷
大正十年五月二十五日發行

新新朝鮮語會話

金壹

著者 山本正誠

東京市日本橋區數寄屋町一番地
發行者 濱井松之助

東京市麴町區平河町五丁目一番地
印刷者 戸田耕司

發兌 東京日本橋數寄屋町 振替東京一三七五番 大阪屋號書店

發賣 京城本町一丁目 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

(同店) 釜山 大連 旅順 鐵嶺 鞍山